

WSD-F21HR

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、「クイックスタートガイド」（製品に添付）に記載されている「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

目次

はじめに	JA-3
本機の特長	JA-4
計測機能について	JA-6
パッケージ内容と各部の名称	JA-7
この取扱説明書について	JA-8
準備	JA-9
心拍計測のための初期設定	JA-14
知っておきたい基本操作	JA-17
アウトドア機能の利用 –	
カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う	JA-21
カシオ製ウォッチフェイスを使う	JA-22
ウォッチフェイス「ハートレート」を使う	JA-24
ロケーションメモリーアプリを使う	JA-29
ポイントナビを使う	JA-38
ツールアプリを使う	JA-41
アクティビティアプリを使う	JA-55
MOMENT SETTER アプリを使う	JA-68
マルチタイムピースアプリを使う	JA-72
アウトドア機能の共通設定について	JA-75
困ったときには	JA-92

ご注意	JA-95
使用上のご注意	JA-95
お手入れについて	JA-106
充電式電池の取り扱いについて (電池リサイクルのお願い)	JA-107
個人情報の保護に関するご注意	JA-107
本機装着時のご注意	JA-108
無線に関するご注意	JA-110
主な仕様	JA-112
補足情報	JA-118

はじめに

iPhone をご利用のお客様へのご注意

- iPhone とペア設定して本機をご使用の場合は、必ず iPhone の Wear OS by Google™ アプリを起動したままにしてください。Wear OS by Google アプリが終了した状態では、iPhone との通信を必要とする機能が動作しなくなります。
- iPhone とペア設定して本機をご使用の場合には、一部制約があります。詳しくは、下記ウェブサイトを参照してください。
<https://support.casio.com/wsd/ja/>

本機の特長

2 層ディスプレイによる表現力と視認性

本機はカラーとモノクロの 2 層ディスプレイを搭載しています。モノクロディスプレイは太陽光下の視認性が高く、消費電力を抑えながら情報を確認するのに適しています。また、モノクロディスプレイでもより多くの情報が表示可能になりました(当社従来比)。

心拍計測

本機を手首に装着することで、推定心拍数の計測が可能です。現在の心拍数および心拍ゾーン※1 を、ウォッチフェイス「ハートレート」や、アクティビティアプリの計測画面に表示します。

※1 心拍ゾーンを表示するためには、安静時心拍数と最大心拍数の初期設定が必要です。

Wear OS by Google 搭載

Google、Android、Wear OS by Google、Google Play、およびその他のマークやロゴは Google LLC の商標です。

Wear OS by Google は、Android™ 4.4 以上(Go エディションを除く)または iOS 10 以上が稼働しているスマートフォンで動作します。利用できる機能は、プラットフォームや国によって異なります。

5 気圧防水 + MIL-STD※2 準拠

音声認識用のマイクを内蔵しながら 5 気圧防水を実現しました。水泳や釣りなども、本機を着用したまま楽しむことができます。また MIL-STD-810G 準拠の耐環境性能により、さまざまなアウトドア・アクティビティ(トレイルランニング、登山、サイクルスポーツ、フィッシングなど)で使用できます。

※2 米国防総省が制定した米軍の物資調達規格

GPS 内蔵

本機は GPS^{※3} を内蔵しており、スマートフォンとの連携なしで位置情報の取得が可能です。現在地の地図表示^{※4}、各種アクティビティの計測や記録などが、本機単独で実行できます。

※3 本機の測位システムは GPS (米国) だけでなく GLONASS (ロシア) および QZSS (日本) にも対応しています。本書中では、本機が対応しているすべての測位システムを代表して、「GPS」という表現を使用しています。

※4 スマートフォンがないときに地図を表示するためには、あらかじめ地図のダウンロードをしておく必要があります。

3 つのサイドボタンで確実な操作

アウトドアでも確実な操作ができる 3 つのボタンを装備しています。MAP ボタンと APP ボタンには、アプリの自由な割り当てが可能です。

計測機能について

本機には気圧、高度、方位などを計測し、表示することが可能なウォッチフェイスやアプリが搭載されています。ただし、本機は専門的な計測器ではありません。本機の各種計測機能は、目安としてお使いください。

コンパス (方位計測)

本格的な登山など、正確な方位の確認が必須となるような場面では、信頼性の高い予備の方位磁針をご用意の上、本機のコンパス機能と併用してください。

重要

- 次のような場所では、正しい計測や補正ができません。
 - 永久磁石 (磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品 (テレビ、パソコン、携帯電話など) の近くのような強い磁力がある場所
 - 電車、船、飛行機などの乗り物の中
 - 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内

高度計、気圧計

本機の高度計は、圧力センサーで計測した気圧を高度に換算した値を表示します (相対高度計)。このため同じ場所で計測しても、時間の経過により気温、湿度、気圧などが変化すると、高度計の値も変化します。また、標高とは異なる値を表示することがあります。登山などでご使用いただく際は、実際にご使用いただく場所の高度 (標高) に、こまめに補正しながら計測されることをおすすめします。

タイドグラフ (潮汐情報のグラフ表示)

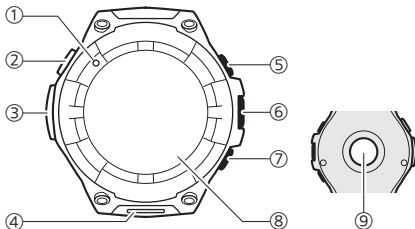
本機のタイドグラフは、あくまで潮の満ち引きの目安を表示するものであり、航海のための潮汐情報としては利用できません。航海には必ず、海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

パッケージ内容と各部の名称

パッケージ内容

本体、AC アダプター、充電ケーブル、クイックスタートガイド (保証書付き)

各部の名称



① 充電 LED

② 充電端子

③ 圧力センサー

④ マイク

⑤ MAP ボタン

⑥ 電源ボタン

⑦ APP ボタン

⑧ タッチスクリーン

⑨ 光学式センサー (心拍計)

この取扱説明書について

- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- この取扱説明書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- この取扱説明書および本製品の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えません。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、実際の製品と異なる場合があります。

準備

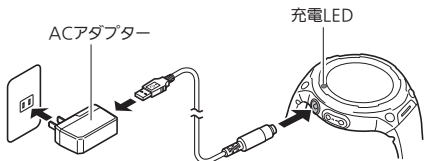
「クイックスタートガイド」に記載の安全上のご注意をお読みの上、「**本機の使用を開始するための準備**」と「**アウトドア機能を利用するための準備**」のすべての操作を行ってください。

本機の使用を開始するための準備

本機を使用するために必須の準備です。最初に操作してください。

1. 充電する

付属の AC アダプターをコンセントに接続し、付属の充電ケーブルを AC アダプターと本機の充電端子に接続します。



- 充電 LED は充電中に赤、フル充電で緑に点灯します。
- 充電を開始し一定以上充電されると、電池残量が表示され、自動的に電源が入ります。電源が自動的に入らなかった場合は、電源ボタンを2秒以上押すと、電源が入ります。

✓ 重要

- 本機の電池をより長くお使いいただくために、長期間ご使用にならない場合でも、1 か月に 1 度程度の定期的な充電をおすすめします。

2. スマートフォンに Wear OS by Google アプリをインストールする

Android スマートフォンの場合は Google Play™、iPhone の場合は App Store から Wear OS by Google アプリをダウンロードし、インストールしてください。

3. スマートフォンとペア設定する

- 本機の電源がオフの場合は、電源ボタンを約 2 秒間長押しして、電源をオンにします。
- ペア設定時は、スマートフォンを本機の 1m 以内に置くことを推奨します。スマートフォンの Wear OS by Google アプリを起動し、画面に表示される指示に従ってペア設定してください。詳しい操作については、下記のウェブサイトを参照してください。

Wear OS by Google ヘルプ

<https://support.google.com/wearos/>

カシオ Smart Outdoor Watch サポートサイト

<https://support.casio.com/wsd/ja/startup/>

4. カシオ製アプリをアップデートする

- 本機の機能を 100%ご利用いただくために、ご使用前に必ず、カシオ製アプリを最新バージョンにアップデートしてください。アップデートの手順は、下記ウェブサイトを参照してください。
<https://support.casio.com/wsd/ja/basic/preparation.html>

5. CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストールする (Android のみ)

Android スマートフォンをお使いのお客様は、「CASIO MOMENT SETTER+」アプリを Google Play からダウンロードし、インストールすると、下記の機能が使用可能になります。

- 「登録地点に近づいたとき」または「登録地点から離れたとき」に指定の通知を発行 (MOMENT SETTER)
- スマートフォンの電池残量を画面表示

✓ 重要

- CASIO MOMENT SETTER+アプリには 2 種類のバージョンがあります。必ず新バージョンのアプリをインストールしてください。バージョンの新旧は、Google Play 上に表示されるアプリのアイコンでご確認ください。



旧バージョンのアイコン



新バージョンのアイコン

アウトドア機能を利用するための準備

本機のアウトドア機能(カシオ製ウォッチフェイスやアプリの機能)を最大限に活用するために、必要な準備です。「[本機の使用を開始するための準備](#)」に引き続き、下記の操作を行ってください。

1. 本機で Play ストアが利用できるように設定する

1. 本機と iPhone を接続して使用している場合は、本機を Wi-Fi に接続する。
2. ウォッチフェイスの表示中に電源ボタンを短く押して、アプリメニューを表示する。
3. タッチスクリーンを上下にスクロールして、「Play ストア」をタップする。
 - Play ストアの利用が可能となります。使ってみたいアプリをインストールしてください。

2. カシオ製アプリを最新の状態にアップデートする

1. アプリメニューから「Play ストア」をタップする。
2. 「スマートウォッチ上のアプリ」を選んで、本機にインストール済みのアプリ一覧を表示する。
 - 上記の操作ができない場合は、タッチスクリーンを上端から下にスワイプして Play ストアのメニューを表示し、「マイアプリ」アイコンをタップします。
3. 「アップデートあり」の下に、アップデートできるアプリが表示されます。CASIO MOMENT SETTER+のアップデートがある場合は、必ずアップデートしてください。

3. 本機とスマートフォンの位置情報を設定する

本機の操作

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
2. 下にスクロールして「接続」をタップする。
3. 表示される画面で「位置情報」をオンにする。

スマートフォンの操作

「設定」→「位置情報」をオンにした上で「高精度」モードを選択します。ご使用のスマートフォンに「高精度」の設定がない場合は、GPS、Wi-Fi、モバイルネットワーク（データ通信）の各設定を「ON」にしてください。

以下は、カシオ製ウォッチフェイス、ロケーションメモリーアプリ、ツールアプリ、アクティビティアプリ、MOMENT SETTER アプリの全機能を利用可能にするために必要な設定です。

4. CASIO MOMENT SETTER+の「権限」を有効にする

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
2. 下にスクロールして「アプリと通知」、「アプリの権限」、「システムアプリ」、「CASIO MOMENT SETTER+」の順にタップする。
3. 表示される項目（「カレンダー」、「マイク」、「位置情報」、「センサー」など）をそれぞれタップして、すべての項目をオンにする。

5. 「毎日の位置情報を保存」を「ON」にする

1. ウォッチフェイスの表示中に MAP ボタンを押して、ロケーションメモリーアプリを起動する。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
 - 設定メニューが表示されます。
3. 設定メニューを下にスクロールし、「毎日の位置情報を保存」が「OFF」になっているのを確認してからタップする。
 - 位置情報の保存に関するダイアログが表示されます。表示内容をよくお読みください。
4. 「6分ごと」または「1分ごと」をタップする。
 - 「毎日の位置情報を保存」が「ON」に切り替わります。
 - 「1分ごと」に設定した場合は電池消費が多くなりますので、ご注意ください。

6. 心拍計測のための初期設定を行う

- 本機的心拍計測機能を利用する上で、必須の操作です。詳しくは、「[心拍計測のための初期設定](#)」を参照してください。

心拍計測のための初期設定

本機の心拍計測機能を活用するために必要な準備です。「[アウトドア機能を利用するための準備](#)」に引き続き、下記の操作を行ってください。

✔ 重要

- 下記操作では、お客様の安静時の心拍数を入力します。操作前に、あらかじめ「[安静時心拍数の測定について](#)」をお読みの上、安静時の心拍数を測定しておいてください。

1. ウォッチフェイス「ハートレート」の中央付近をタップする

2. 「初期設定する」をタップする

3. 誕生日と誕生月を入力する

1. 表示される「誕生日」画面で、 /  を使って誕生日を入力し、 をタップする。
2. 表示される「誕生月」画面で、 /  を使って誕生月を入力し、 をタップする。
 - ここで入力した誕生年月は、総合最大心拍数を年齢から自動的に計算するために使われます。
 - お客様ご自身がすでに自分の最大心拍数をご存知の場合など、手で最大心拍数を入力したい場合は、「[総合最大心拍数](#)」を参照してください。

4. 安静時の心拍数を入力する

1.  /  を使って、「安静時心拍数の測定について」に従って測定しておいた心拍数を入力し、 をタップする。
 - 安静時の心拍数は、40～220 の間で入力します。

安静時心拍数の測定について

本機で計測した心拍データに基づくさまざまな計算を実施するためには、お客様の基礎データとして安静時心拍数を入力して頂くことが必須です。安静時心拍数は、単に静かに休んでいるときの心拍数を数えるだけでは、必ずしも正確に測ることはできません。

ここでは正確な測定の手順を紹介しますので、よくお読みの上で測定を実施し、その結果の数値を本機に入力してください。

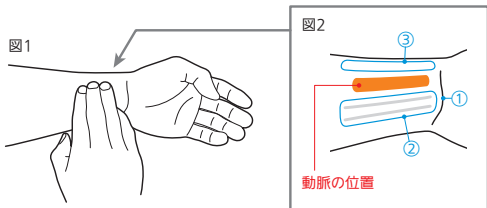
安静時の心拍数を測定するには

1. 次の(a)または(b)いずれかの状態で、安静を保つ

- より正確な測定のためには (a) をおすすめします。
- (a) 睡眠から目覚めた直後、起き上らずに、横になったまま安静を保つ。
- (b) 目覚めた直後でない場合は、まず横になって目をつぶり、5 分間以上安静を保つ。

2. 安静を保ったまま、手首の動脈の位置に人差し指、中指、薬指の3本、または人差し指と中指の2本の指をあてる(図1)

- 手首の動脈は、図2の①手首のしわ、②手首の筋、③手首側面の骨部分に囲まれた位置にあります。



- 指の位置を少しずつずらしたり、指で押さえる力を加減したりすることで、脈拍がしっかりと感じられる位置を決めてください。
- 手首で脈が取りにくい場合は、首筋に指を当てる、または心臓に手を当てる方法もお試しく下さい。

3. 安静を保ったまま、1分間の心拍数を数える

- 15秒間の心拍数を数えて4倍しても構いません。

知っておきたい基本操作

✓ 重要

- 本機と接続するスマートフォンの OS の種類やバージョン、本機の OS のアップデート等によって、ここでの説明とは操作が異なる場合があります。Wear OS by Google の操作に関するより詳細な情報は、下記のウェブサイト参照してください。
<https://support.google.com/wearos/>

各ボタンのはたらき

電源ボタン	● 画面が暗いときに押すと、画面が復帰する。 ● ウォッチフェイスの表示中に押すと、アプリメニュー（アプリを起動するためのアプリ一覧）が現れる。 ● 本機の電源がオフのときは、約 2 秒間長押しすると電源がオンになる。
MAP ボタン (右上)	ウォッチフェイスの表示中に押すと、あらかじめ設定しておいたアプリ（初期設定ではロケーションメモリー）が起動する。
APP ボタン (右下)	ウォッチフェイスの表示中に押すと、あらかじめ設定しておいたアプリ（初期設定ではアクティビティ）が起動する。

参考

- MAP ボタンや APP ボタンを押したときに起動するアプリを変更する操作については、下記ウェブサイト参照してください。
<https://support.google.com/wearos/>

暗くなった画面を復帰する

本機を操作していないときは、画面が暗くなります。復帰する（明るい画面に戻す）には、タッチスクリーンをタップするか、電源ボタンを押します。

電源の操作

これをするには	この操作を行う
充電する	[本機の使用を開始するための準備] の手順 1 を参照。
電源をオフにする	- ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。 - 下にスクロールして「システム」、「電源 OFF」の順にタップし、確認画面で をタップする。
電源をオンにする	電源ボタンを約 2 秒間長押しする。

ウォッチフェイスの操作

これをするには	この操作を行う
ウォッチフェイスを切り替える	- ウォッチフェイスの表示中に、タッチスクリーンの中央を約 2 秒間長押しする。 お気に入りウォッチフェイスの一覧が現れる。 - お気に入りウォッチフェイスの一覧を左右にスクロールして、使用したいものをタップする。
ウォッチフェイスをお気に入りに追加する	- お気に入りウォッチフェイスの一覧を、右端までスクロールすると現れる+ボタンをタップする。 全ウォッチフェイスの一覧が現れる。 - 全ウォッチフェイスの一覧を上下にスクロールして、お気に入りに追加したいものをタップする。
ウォッチフェイスをお気に入りから外す	お気に入りウォッチフェイスの一覧で、お気に入りから外したいものを下から上にスワイプする。

お気に入りウォッチフェイスについて

本機には多数のウォッチフェイスが搭載されているので、よく使うウォッチフェイスを上記「ウォッチフェイスをお気に入りに追加する」の操作で登録してください。登録したウォッチフェイスだけがお気に入りウォッチフェイスの一覧に現れるので、切り替えを手早く行うことができます。

参考

- ウォッチフェイスの各種操作について詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。
<https://support.google.com/wearos/>
- カシオ製のウォッチフェイスについては、「[カシオ製ウォッチフェイスを使う](#)」を参照してください。

アプリの利用

これをするには	この操作を行う
アプリを起動する	- ウォッチフェイスの表示中に電源ボタンを短く押して、アプリメニューを表示する。 - タッチスクリーンを上下にスクロールして、起動したいアプリを表示し、タップする。
ウォッチフェイスに戻る	電源ボタンを押す。

各アプリの使い方について

- ロケーションメモリー、ポイントナビ、ツール、アクティビティ、MOMENT SETTER、マルチタイムピースの各アプリについては、「[アウトドア機能の利用 - カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う](#)」を参照してください。
- Google™製のアプリ (Wear OS by Google 標準搭載アプリ) については、下記のウェブサイト参照してください。
<https://support.google.com/wearos/>
- その他サードパーティー製のアプリについては、開発元のウェブサイトや説明書などを参照してください。

Wear OS by Google の機能について

本機が OS として採用している Wear OS by Google は、OS の機能として次のようなことができます。

- 音声入力
- 各種メッセージの送受信や電話の着信通知
- Google Fit™、タイマー、予定リスト、翻訳など、Wear OS by Google 標準搭載アプリの利用
- Play ストアアプリを使ったウォッチフェイスやアプリの追加
- Wear OS by Google の設定

詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

スマートフォンと未接続時にできないこと

本機はスマートフォンと未接続のときでも多数の機能を利用できますが、音声入力や、スマートフォンとの連携を前提としたアプリ、サービスなど、一部利用できなくなる機能もあります。詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

または、下記のウェブサイトにアクセスし、「スマートフォンがないときにできることは何ですか」と入力してから検索ボタンを押してください。

<https://support.casio.jp/faq.php?cid=019>

アウトドア機能の利用 – カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う

アウトドアで役立つ、カシオ製ウォッチフェイスの表示の見かたや、次のカシオ製アプリの使い方を説明します。

アプリ	できること
ロケーションメモリー	カラー地図で現在地を確認する
ポイントナビ	目的地の方向と距離を表示する
ツール	自然環境を調べる
アクティビティ	ランニングをはじめとする運動の状態を表示・記録する
MOMENT SETTER	適切なタイミングを察知する
マルチタイムピース	表示を時計と一部機能に限定して節電する

✓ 重要

- 本機のアウトドア機能を最大限に活用するために、必ず「[アウトドア機能を利用するための準備](#)」の操作を行ってください。
- ロケーションメモリー、ポイントナビ、アクティビティ、ツールの各アプリが表示する速度や距離は、本機またはスマートフォンのGPS機能を使用して測定しているため、GPSの受信状態や位置の検出誤差により、実際の値と差が出る場合があります。

カシオ製ウォッチフェイスを使う

本機には次のカシオ製ウォッチフェイスが搭載されています。ウォッチフェイスの名前は、お気に入りウォッチフェイスの一覧や、全ウォッチフェイスの一覧に表示されます（「[ウォッチフェイスの操作](#)」を参照）。

ハートレート	心拍計測機能の付いたウォッチフェイスです。24 時間の心拍ゾーンをグラフで表示し、心拍数の変化を見ることができます。
2 レイヤー	視認性のよいモノクロ液晶と、カラー表現できる液晶を使い分けるデジタル時計です。上段に表示する情報と下段に表示する情報を、カスタマイズすることができます。
オーセンティック	シンプルなアナログ時計です。固定表示の 24 時間計メーターに加え、タップして表示内容を変更できる 2 つのメーターを備えています。
プレイス	ウォッチフェイスの設定で Google カレンダー™ の予定を指定しておく、その場所がアナログ時計表示の背景地図上に表示されます。指定がない場合は、現在地が表示されます。
ジャーニー	現在地の地図を表示するアナログ時計です。Google カレンダーに登録した予定が、最大 3 件まで表示されます。また予定の 1 件をタップすると、その行き先の地図が表示されます。
トラベラー	旅先などで役に立つ情報を表示するアナログ時計です。10 時位置のダイヤルをタップするたびに、文字板下部のインフォウィンドウへの表示情報が切り替わります。
マルチ	カジュアルなデジタル時計です。タップして表示内容を変更できる 3 つのメーターを備えています。
ロケーション	GPS による現在地の緯度・経度と、背景に現在地を中心とする世界地図を表示するアナログ時計です。
世界時計	現在地の日付時刻と都市名（タイムゾーン名）、現在地とホーム都市の時差、ホーム都市の日付時刻と都市名（タイムゾーン名）を表示するデジタル時計です。

✓ 重要

- 「常に画面を ON^{*}」がオフのとき(本機の初期設定:オフ)、どのウォッチフェイスを表示しているかに関わらず、本機を操作せずに画面が暗くなったときには、強制的にモノクロ液晶の時計表示に切り替わります。タッチスクリーンをタップすると、元のウォッチフェイス表示に戻ります。
- 電池残量が 0%になると、「常に画面を ON」がオンであっても、どのウォッチフェイスを表示しているかに関わらず、本機を操作せずに画面が暗くなったときには、強制的にモノクロ液晶の時計表示に切り替わります。

※ 「常に画面を ON」は Wear OS by Google の設定項目のひとつです。詳しくは下記ウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

「磁化補正を行ってください」と表示されたときは

文字板にコンパスを表示可能なウォッチフェイスの使用時に「磁化補正を行ってください」という通知が表示されることがあります。

コンパスを正確に動作させるためには、この通知をタップすると現れる  をタップし、表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。

高度や気圧などの数値が実際と違うと感じたときは

表示データの補正操作が必要です。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、下記の操作を行ってください。

これを補正するには	ここを参照
気圧計	「 気圧補正 」
高度計	「 高度補正 」、「 高度をロケーションで補正 」
コンパス	「 コンパス磁化補正 」、「 コンパスの磁気偏角を補正 」

カシオ製ウォッチフェイスの設定を変更したいときは

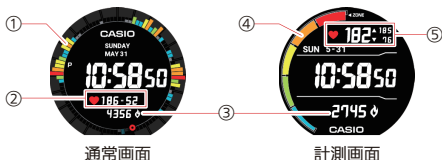
「[アウトドア機能の共通設定について](#)」を参照してください。

ウォッチフェイス「ハートレート」を使う

✔ 重要

- 本機で心拍ゾーンを表示するためには、誕生月と安静時の心拍数の設定が必要です。必ず「[心拍計測のための初期設定](#)」の操作で、設定を済ませておいてください。
- 本機で心拍数を計測するためには、必ず計測を開始する前に本機を腕に装着してください。計測の開始後に本機を腕に装着すると、正しい計測ができない場合があります。装着のしかたは、「[本機装着時のご注意](#)」を参照してください。
- ウォッチフェイス「ハートレート」の背景に地図を表示するためには、[CASIO MOMENT SETTER+](#)の「[権限](#)」の「位置情報」を有効にする必要があります。

「ハートレート」は、心拍計測機能付きのウォッチフェイスです。心拍数を計測していない時は心拍数の履歴を時計の外周に表示し（通常画面）、計測中には心拍数を表示する画面（計測画面）になります。



それぞれの画面には次のような情報が表示されます。

- ① 過去 24 時間の心拍ゾーンの履歴
24 時間前から現在までの心拍ゾーンの履歴が、色分けで表示されます。このエリアをタップすると、心拍ゾーンの履歴をグラフで表示する画面に切り替わります。
- ② 本日計測した最大／最小心拍数
本日計測した最大心拍数と最小心拍数が表示されます。またハートアイコンの色※1 は、本日の最大心拍時の心拍ゾーンを表します。
- ③ 本日これまでのエネルギー消費量※2
午前 0 時から現在までの、エネルギー消費量を表示します。表示単位は「エネルギーの単位」の設定に従います。
- ④ 現在の心拍ゾーン
現在の心拍数の心拍ゾーンが表示されます。
- ⑤ 現在の心拍数、本日計測した最大／最小心拍数
現在の心拍数が表示され、その心拍ゾーンがハートアイコンの色※1 で表示されます。また、右上の数字は本日これまでの最大心拍数、右下の数字は最小心拍数を表します。「心拍表示位置」の設定により、この部分の表示位置をウォッチフェイスの中段に設定可能です。

※1 心拍ゾーンがゾーン 1 未満の場合はグレーで表示されます。

※2 「毎日の活動記録を保存」が「OFF」の場合は何も表示されません。

心拍計測の開始と終了について

「心拍計測」が「自動計測」の場合

ユーザーが運動していることを本機が検出すると、自動的に心拍計測が開始され、通常画面から計測画面に切り替わります。心拍計測中にユーザーの静止が検出されると、計測は自動的に終了します。

通常画面の表示中に心拍数を手動で1回だけ計測するには

通常画面で画面中央をタップし、表示される確認画面で  をタップします。

計測画面に切り替わり、計測された心拍数が表示されます。その後、「計測終了までの時間」に応じて、自動的に通常画面に戻ります。

「心拍計測」が「連続計測」の場合

心拍計測の開始と終了を、手動操作で行います。

計測を開始するには

1. 通常画面の中央をタップすると表示される画面で、 をタップする

計測を途中で終了するには

計測画面の中央をタップすると表示される確認画面で、 をタップします。

心拍ゾーンについて

心拍ゾーンは、安静時心拍数と総合最大心拍数に基づいて、心拍数をゾーン1～ゾーン5の5段階に分けたものです。目安としては、ゾーン1が最大心拍数の50%以上60%未満、ゾーン5が最大心拍数の90%以上です。ウォッチフェイスのハートレートの画面上では、心拍ゾーンは下記の色分けで表されます。

ゾーン5:	赤	
ゾーン4:	橙	
ゾーン3:	黄	
ゾーン2:	緑	
ゾーン1:	青	
ゾーン1未満:	グレー	

ハートレートの各種設定

ハートレートの設定メニューに含まれる下記項目を使って、ハートレートの動作や、画面への表示内容を変更することができます。

メニュー項目	設定内容
背景表示 →通常画面、計測画面	ハートレートの通常画面、計測画面それぞれの背景に地図を表示するか、しないかを指定します。
毎日の活動記録を保存	エネルギー消費量を表示するためには、本項目を「ON」にすることが必要です。
心拍計測	心拍計測方法を指定します。 自動計測：本機がユーザーの運動を検出して、自動的に心拍計測を開始、終了します。 連続計測：画面中央をタップすることで、心拍計測を開始、終了します。 計測しない：心拍計測を実施しません。
心拍表示位置	計測画面のどの位置に心拍数を表示するか指定します。 上段：上段に心拍数を表示します。 中段：中段に心拍数を表示します。
計測終了までの時間	「心拍計測」を「自動計測」にしている場合の設定です。 運動停止したことを本機が検出した時点を起点として、それから何分後に計測を終了するかを指定します。

ロケーションメモリーアプリを使う

ロケーションメモリーアプリは、地図とリンクした記録を手早く残すためのアプリです。次のようなことができます。

- 地図を表示して現在地を確認します。
- 市街地図、地形図、衛星写真など、地図の見た目をさまざまなスキンから選べます。
- アプリを起動している間の移動ルートを、地図上に表示します。
- 現在地に声でメモ（音声認識によるテキスト）を残すことができます。
- より手早くメモしたいときや、ネットワーク通信ができないときは、マークでメモを残すこともできます。
- 「また来たい」マークを使ってメモを記録すると、再びその地点の近くに来たときに通知を受け取ったり、その地点へのナビを表示したりできます。



ロケーションメモリーの基本操作

ロケーションメモリーアプリは、主な操作を本機の MAP ボタンと APP ボタンで行うことができます。各ボタンを押すとできることが、画面上(ボタンの左)にアイコンで表示されます。アイコンをタップしても、同じ操作ができます。

アイコン	ボタンを押すかアイコンをタップするとできる操作
	ボタンの機能を地図の拡大・縮小に切り替える
	ボタンの機能をメモ種類の選択に切り替える
	地図を拡大する
	地図を縮小する
	マークでメモを記録する
	声でメモを記録する

Mapbox の地図をダウンロードする

ネットワーク通信ができない場所に行って地図を利用したい場合は、事前にネットワーク通信が可能な場所で地図をダウンロードしておきます。

下記の操作で地図をダウンロードすると、「[地図の種類](#)」が自動的に「Mapbox」に切り替わります。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「[地図のダウンロード](#)」をタップする。
2. 「[地図のダウンロード](#)」の手順 2 以降を実行する。

「また来たい」マークについて

「また来たい」マーク()を使ってメモを記録すると、再びその地点の近く(初期設定では 5km 以内)に来たときに通知が受け取れます。通知距離の変更や、通知が来ないように変更したい場合の設定操作については、「[「また来たい」マークの通知設定を変更する](#)」を参照してください。

✓ 重要

- 「また来たい」マークによる通知を受け取るには、CASIO MOMENT SETTER+アプリのインストールされた Android スマートフォンと本機が通信可能な状態であることが必要です。
- 本機を iPhone と接続して使用している場合、「また来たい」マークによる通知を受け取ることはできません。
- 「また来たい」マークは、最大 50 件まで記録できます。50 件を超えて記録しようとすると、古いものから順に自動的に削除されます。

ポイントナビと方位表示について

「ポイントナビ」と「方位表示」を同時に使うことで、目的地の方向を直感的に知ることができます。



ポイントナビ

- 指定した目的地の方位と、目的地までの距離を、地図上に表示することができます。表示するには、地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューで「ポイントナビ」をタップします。詳しくは、「[ポイントナビを使う](#)」を参照してください。

方位表示

- 時計の 12 時方向が向いている方位を地図上に表示できます。表示するには、地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューで「方位表示」をタップし、設定を「ON」に切り替えます。この設定を「ON」にすると、アクティビティアプリで表示される地図上にも、方位が表示されます。

「ポイントナビ」によって表示される目的地の方位（線の向き）と、「方位表示」によって表示される扇の向きを一致させると、時計の 12 時方向が目的地の方位になります。

その他の操作

- 記録したメモを見るには、地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューで「履歴表示」をタップします。
- 地図上に移動ルートを表示する操作については、「[移動ルートが地図上に表示されるように設定する（ルート表示）](#)」を参照してください。
- 地図の表示設定については、「[アウトドア機能の共通設定について](#)」および下記を参照してください。
 - 地図を Google マップ™ と Mapbox の間で切り替える: [地図の種類](#)
 - 地図表示を地形図や航空写真に変更する: [地図のスキン](#)

ロケーションメモリーアプリの設定

ロケーションメモリーアプリに特有の設定(「ルート表示」と「また来たい」)について説明します。その他の設定項目については、「[アウトドア機能の共通設定について](#)」を参照してください。

移動ルートが地図上に表示されるように設定する(ルート表示)
自分の移動ルートを、地図上に表示できます。



通常の移動ルートは青のライン、アクティビティアプリを使った計測中に移動したルートは赤のラインで表示されます。

移動ルートを表示するには、下記の操作で設定メニューの「ルート表示」を「OFF」(初期設定)から「ON」に切り替えます。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「ルート表示」が「OFF」になっているのを確認してからタップして「ON」に切り替える。

重要

- 本機は一定間隔で位置情報 (GPS) を取得することで、移動ルートを表示します。通常は電池の消耗を抑えるため、位置情報の取得頻度が低くなっています。このため、車や電車などで移動した際の移動ルートは、滑らかには表示されません。また、非常に高速な乗り物での移動時は位置情報の取得ができず、移動ルートが正しく表示されない場合があります。
- 移動ルートを滑らかに表示させたい場合は、アクティビティアプリを使った計測を実施してください。計測中は位置情報の取得頻度が上がるため、移動ルートの表示がより滑らかになります。
- 本機は移動ルートやマーク、メモなどを、内蔵ストレージに記録します。ストレージ容量が許す限り記録可能ですが、ストレージの残量が少なくなってくると、古いものから順に自動的に削除されます。

「また来たい」マークの通知設定を変更する

「また来たい」マークを記録すると、再びその地点の近くに来たときに通知を受け取ることができます。本機の初期状態では、次の条件を満たしたときに通知されます。

- 「また来たい」マークがある地点の<<5km 圏内>>に近づいたとき
- 「また来たい」マークがある地点の上記圏内に最後に近づいてから、<<1 日以上>>が経過しているとき

上記の<< >>内の設定が変更できます。また、通知を受け取らないようにすることもできます。設定を変更するには、次の操作を行います。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「また来たい」をタップする。
3. 表示される画面で必要な設定を行う。
 - 通知を受け取る条件を変更するには、次の操作を行う。
 1. 「通知」が「OFF」になっている場合は、タップして「ON」にする。
 2. 「範囲」をタップし、表示される選択肢から指定したい距離をタップする。
 3. 「通知の抑制」をタップし、表示される選択肢から指定したい期間をタップする。
 - 通知を受け取らないようにするには、「通知」をタップして「OFF」に切り替える。

移動したルートをスマートフォンでも見たいときは

下記操作を実行すると、本機に記録された移動ルートを、スマートフォンの Google Earth™ などを使ってご覧いただけます。スマートフォンには、あらかじめ「Google ドライブ™」と「Google Earth」の各アプリをインストールしておいてください。

履歴表示から移動ルートを出力する場合

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴表示」をタップする。
2. 履歴表示したいデータの日付を選択する。
3. 「地図で見る」をタップする。
 - 移動ルートの履歴が地図で表示されます。
4. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「KMLで出力」をタップする。
 - 初回はアカウントの選択画面が現れます。KML ファイルは Google ドライブに保存されますので、お客様の Google アカウントを選択してください。
 - エクスポートが開始されたら、完了するまでは何も操作せずにお待ちください。
 - 出力した KML ファイルは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダーに保存されます。

通常の地図表示から移動ルートを出力する場合

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「エクスポート」、「KMLで出力」の順にタップする。
 - 初回はアカウントの選択画面が現れます。KML ファイルは Google ドライブに保存されますので、お客様の Google アカウントを選択してください。
3. 出力したい移動ルートデータの日付を選択する。
 - エクスポートが開始されます。完了するまでは、何も操作せずにお待ちください。
 - 出力した KML ファイルは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダーに保存されます。

ポイントナビを使う

ポイントナビを使うと、指定した目的地の方位と、目的地までの距離を、地図上に表示することができます。この機能はポイントナビアプリからだけでなく、[ロケーションメモリーアプリ](#)や[アクティビティアプリ](#)からも利用できます。



ナビ実行中表示（現在地地図）

参考

- ツールアプリのコンパス上に、ポイントナビで指定した目的地の方位を表示することも可能です（共通設定項目の「[ポイントナビ](#)」を参照）。

ポイントナビの基本操作

これをするには	この操作を行う
ナビを開始する	- 次のいずれかの操作で、ポイントナビを起動する。 - アプリメニューで「ポイントナビ」をタップする。 - ロケーションメモリーアプリで地図を表示中に、タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、「ポイントナビ」をタップする。 - アクティビティアプリの「START」画面でタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、「ポイントナビ」をタップする。 「目的地を指定」※1※2 をタップする。 - 表示される地図の中心(十字マーク位置)に目的地を表示し、「目的地」をタップする。 - ナビを開始するには、「START」をタップする。

※1 アクティビティアプリから操作を開始した場合、ここで「スタート地点に戻る」をタップして、アクティビティのスタート地点をナビの目的地に設定することが可能です。

※2 ポイントナビで目的地を指定したことがある場合は、「目的地の履歴」をタップすると表示される履歴の一覧から、目的地を選ぶことも可能です。履歴は最近指定した 10 件まで記録されています。

これをするには	この操作を行う
ナビ実行中に目的地を変更する	1. 「ナビを開始する」の手順 1 を実行する。 • 「現在ナビゲーションを実行中です。」というメッセージが表示されます。 2. メッセージを下にスクロールして「目的地を再設定」をタップする。 3. 表示される確認メッセージ画面で「停止」をタップする。 4. 「ナビを開始する」の手順 2 以降を実行する。
ナビを実行途中で停止する	1. 「ナビを開始する」の手順 1 を実行する。 • 「現在ナビゲーションを実行中です。」というメッセージが表示されます。 2. メッセージを下にスクロールして「ナビゲーションを停止」をタップする。 3. 表示される確認メッセージ画面で「停止」をタップする。

ナビ実行中に目的地に到着すると

ポイントナビの地図を表示中に目的地付近(約 80m 以内が目安)に到着すると、その旨を通知するメッセージが表示されます。ナビを停止するには「停止」を、ナビを継続するには「再開」をタップします。

ツールアプリを使う

ツールは本機周辺の自然環境のさまざまな情報を表示するアプリです。

ツール機能一覧

コンパス	方位磁針を表示します。またカラー表示には、現在地の緯度と経度が表示されます。
高度計	現在地の高度を数値とメーター針で表示する「① 高度メーター画面」と、過去 24 時間分の高度変化をグラフ表示する「② 高度グラフ画面」を備えています。
気圧計	現在地の気圧を数値とメーター針で表示する「① 気圧メーター画面」と、過去 24 時間分の気圧変化をグラフ表示する「② 気圧グラフ画面」を備えています。
日の出日の入り	現在地の日の出、日の入り時刻を詳しく表示する「① 時刻画面」と、日の出、日の入りの時刻と方位を表示する「② 方位画面」を備えています。
タイドグラフ	あらかじめ登録したポイント(港)の潮汐グラフを表示する「① タイドグラフ画面」と、現在地付近の海や河川で魚が釣れやすい時刻の目安を表示する「② フィッシングタイム画面」を備えています。
活動グラフ	今日の「静止」、「歩く」、「走る」、「乗り物での移動」それぞれの活動時間をグラフィック表示します。

ツールの基本操作

これをするには	この操作を行う
ツールの機能を切り替える	● ツールの起動中に、APP ボタンまたは MAP ボタンを押す。 ● ツールの起動中に、タッチスクリーンを上から下、または下から上にスワイプする。
「 ツール機能一覧 」の①と②の間で画面を切り替える	① から ② の画面に切り替えるには、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。② から ① に切り替えるには、左から右にスワイプする。
ツールに関連した設定を変更する	「 アウトドア機能の共通設定について 」を参照。

カラー表示とモノクロ表示について

ツールの画面をカラー表示とモノクロ表示の間で切り替えることが可能です。屋外の強い太陽光などでカラー表示が見づらいときは、モノクロ表示に切り替えると視認性が向上します。

これをするには	この操作を行う
カラー表示からモノクロ表示に切り替える	APP ボタンまたは MAP ボタンを約 3 秒間長押しする。
モノクロ表示からカラー表示に切り替える	APP ボタンまたは MAP ボタンを約 3 秒間長押しするか、タッチスクリーンをタップする。

参考

- ツールの起動中に約 1 分間何も操作しなかった場合、ツールは自動的に終了します。

コンパスを使う

赤い矢印が真北※1の方角を指します。



画面中央の数字は、北を 0°として時計回りに、本機 12 時方向までが何度かを表します。例えば本機 12 時方向が真東の場合、90°と表示されます。またアルファベットは、本機 12 時方向の方角を 16 方位で表示します。

※1 初期設定時。磁北の方角を指すように変更したい場合は、「[コンパスの磁気偏角を補正](#)」を参照してください。

方角をロックするには

トレッキング中などで、ある特定の方角に進みたいようなとき、コンパスでその方角をロックすることができます。本機の 12 時方向をロックしたい方角に向け、タッチスクリーンをタップしてください。本機の 12 時方向がロックした方角からずれると、そのずれが青いラインとして表示されます。

ロックを解除するには、再度タッチスクリーンをタップします。

コンパスの磁化補正について

「磁化補正を行ってください」というメッセージが表示された場合は、メッセージとともに表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。補正が完了すると、メッセージは消えます。

参考

- 通常、磁化補正は自動的に行われます。メッセージが表示されたときだけ、上記の要領で操作してください。

高度計を使う

高度計には、カラー表示 2 種類(左から高度メーター画面、高度グラフ画面)およびモノクロ表示があります。



- どの画面にも現在高度が表示されます。
- 高度グラフ画面には、過去 24 時間の高度変化グラフと、その間の最低高度 (Min) および最高高度 (Max) が表示されます。
- 本機の高度計の計測範囲は-700～10,000m、計測単位は 1m です。

高度計を使う前に

- 本機の高度計は、位置情報 (GPS) を使って自動で高度補正を行うことが可能です。この機能を使うには、次の設定が必要です。
 - 本機およびスマートフォンの「位置情報」を正しく設定する。
「[アウトドア機能を利用するための準備](#)」の手順 1 を参照してください。
 - 本機の「高度をロケーションで補正」を「ON」にする。
「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[高度をロケーションで補正](#)」の操作を行ってください。
- 本機は気圧の変化量に基づく相対高度を表示しているため、同じ場所においても周囲の環境変化によって表示する値が変化したり、実際とは異なることがあります。「高度をロケーションで補正」は GPS 情報を用いて高度を補正しますが、GPS 情報が原理的に誤差を含んでいるため、本機が表示する高度と実際の標高の誤差が大きくなる場合があります。登山中などに、より高い精度で表示したい場合は、現在地の正確な標高を手動で入力する補正操作を、こまめに実施することをおすすめします。「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[高度補正](#)」の操作を行ってください。
- 高度を計測するときは、できるだけ本機自体の温度を一定に保ってください。計測前に本機をしばらく腕につけたままにすると温度が安定するため、より正確な計測ができます。圧力センサーは温度変化の影響を受けると、多少の誤差が出ることがあります。

高度計に関するご注意

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプターやグライダーに搭乗中のときのように、短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- 本機で計測した高度を専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。
- 気象条件により大気圧に変化が生じたときや、気温の変化が大きいとき、時計が強い衝撃を受けたときは、正しい計測ができない場合があります。

本機が表示する高度について(相対高度)

高度の表し方には以下の2つがあります。

相対高度:

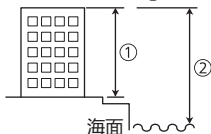
2つの場所の高さの差を表します。

例: 地面から測ったビル屋上までの高さ (①)

海拔高度(標高):

海面からの高度を表します。

例: 海面から測ったビル屋上までの高さ (②)



本機の高度計は、圧力センサーで計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。本機が表示する相対高度は、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義に基づいています。

気圧計を使う

気圧計には、カラー表示 2 種類(左から気圧メーター画面、気圧グラフ画面)およびモノクロ表示があります。



- どの画面にも現在気圧が表示されます。
- 気圧グラフ画面には、過去 24 時間の気圧変化グラフと、その間の最低気圧 (Min) および最高気圧 (Max) が表示されます。
- 本機の気圧計の計測範囲は 260～1,100hPa、計測単位は 1hPa です。

気圧計測値の手動補正について

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[気圧補正](#)」の操作を行ってください。

気圧計に関するご注意

- 本機が表示する気圧や気圧グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。あくまで目安ですので、公式の天気予報や報道活動のための使用は避けてください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。

日の出日の入りを使う

日の出日の入りには、カラー表示 2 種類(左から時刻画面、方位画面)およびモノクロ表示があります。



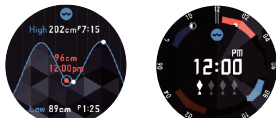
- 時刻画面に表示される時刻は、日の出時刻(左上)、日の出前の航海薄明開始時刻(左下)、日の入り時刻(右上)、日の入り後の航海薄明終了時刻(右下)、現在時刻(中央下)です。
- 方位画面には現在時刻、日の出時刻、日の入り時刻が表示されます。また文字板の周縁部がコンパスになっており、赤い矢印が北を、☀️ が日の出の方角を、🌅 が日の入りの方角をそれぞれ指します。
- モノクロ表示は、日の出時刻(RISE)と日の入り時刻(SET)を 10 秒おきに切り替えて表示します。

航海薄明について

薄明とは、日の出前や日の入り後、太陽が水平線や地平線の下にあるときでも、空がうっすらと明るい時間帯のことです。薄明には「航海薄明」、「市民薄明」、「天文薄明」の 3 つの種類があります。航海薄明は、太陽高度が水平線/地平線下およそ 6～12 度の間にある時間帯を指します。

タイドグラフを使う

タイドグラフには、カラー表示 2 種類(左からタイドグラフ画面、フィッシングタイム画面)およびモノクロ表示があります。



- タイドグラフ画面は、現在の潮位と時刻(中央の赤字)、現在時刻から 12 時間後までに発生する満潮の潮位と時刻(High)、干潮の潮位と時刻(Low)を表示します。グラフは現在時刻の前後 12 時間(計 24 時間)の潮位変化を模式的に表しています。
- **フィッシングタイム画面**は、今現在の魚の釣れやすさ予想を、白い魚マークの数で表示します。0~4 匹の間で表示され、数が多いほど釣果を期待できます(ただし、釣果を保証するものではありません)。
- モノクロ表示は、満潮時刻(HIGH)と干潮時刻(LOW)を 10 秒おきに切り替えて表示します。

タイドグラフを使う前に

- タイドグラフ画面を使うためには、潮汐情報を見たいポイント(港)を指定することが必要です。[「アウトドア機能の共通設定について」](#)をお読みの上、[「港を設定」](#)の操作を行ってください。
- 本機はフィッシングタイム画面への表示情報を、現在地を基準に計算します。ポイント(港)指定には影響されません。このためフィッシングタイム画面は、海だけでなく川や湖でも利用することが可能です。
- タイドグラフ画面はポイント(港)、フィッシングタイム画面は現在地を計算の基準としている点にご留意ください。

フィッシングタイム画面の見かた

今現在の魚の釣れやすさ予想表示 ～ 魚マーク

フィッシングタイム画面では、今現在の魚の釣れやすさ予想を、魚マークの数で表示します。0～4 匹の間で表示され、数が多いほど釣果を期待できます（ただし、釣果を保証するものではありません）。

魚マークは、現在の「月齢」と「月の位置（時角）」という 2 つの要素に基づいて表示します。釣りのタイミングは、月齢に関しては新月/満月が最適、上弦/下弦がそれに次ぐと言われています。月の時角に関しては、0 時/12 時が最適、6 時/18 時がそれに次ぐと言われています。これらの相関から、次のように表示しています。

	時角 0 時/12 時	時角 6 時/18 時	その他
新月/満月※			
上弦/下弦			
その他			

※ 月齢 26.9～28.6 および月齢 12.1～13.8 を含む。

参考

- 時角とは、天体（星や月など）のみかけの位置を表す方法のひとつです。頭上を時角 0 時として、頭上から 90°西を 6 時、真下を 12 時、頭上から 90°東を 18 時と表します。

今日の釣りに適した予想時間帯表示

フィッシングタイム画面には、月の時角が 0 時/12 時となる時刻を中心とする時間帯がオレンジ色の帯で、6 時/18 時となる時刻を中心とする時間帯が青色の帯で表示されます。これらの帯が、「今日 24 時間の中でいつ頃が釣りに適しているか」を表しています。

オレンジの帯がもっとも釣りに適していると予想される時間帯で、青の帯がそれに次ぐ時間帯です。色が薄い部分は現在時刻より前の(すでに過ぎた)時間帯、色が濃い部分は現在時刻以降の(今日これから)の時間帯を表します。帯が指す時刻は、文字板周囲の目盛りで読み取ります。12 時位置が正午、6 時位置が深夜 0 時を表します。



- ① 月の時角 18 時を中心とする時間帯 (時角 18 時の時刻 = 08:50AM)
- ② 月の時角 12 時を中心とする時間帯 (時角 12 時の時刻 = 02:10AM)
- ③ 月の時角 0 時を中心とする時間帯 (時角 0 時の時刻 = 02:00PM)
- ④ 月の時角 6 時を中心とする時間帯 (時角 6 時の時刻 = 08:05PM)

現在の月の時角と月齢表示

フィッシングタイム画面に表示される月は、その表示位置が現在の月の時角を表し、形が現在の月齢を表します。例えば上の画面例では、現在の月の時角は 22 時(12 時位置＝時角 0 時、6 時位置＝時角 12 時)、月齢は 21.3～23.1 です。

月齢に応じて表示される月の形は、下表のとおりです。

月の形	月齢	表示	月の形	月齢	表示
新月	0.0～0.9 28.7～ 29.5		満月	13.9～ 15.7	
	1.0～2.7			15.8～ 17.5	
	2.8～4.6			17.6～ 19.4	
	4.7～6.4			19.5～ 21.2	
上弦	6.5～8.3		下弦	21.3～ 23.1	
	8.4～10.1			23.2～ 24.9	
	10.2～ 12.0			25.0～ 26.8	
	12.1～ 13.8			26.9～ 28.6	

活動グラフを使う

活動グラフは、今日これまでの自分の活動状況を表示します。



- カラー表示とモノクロ表示のどちらの画面にも、今日午前 0 時から現在までの、自分の消費カロリーが表示されます (初期設定時)。
- カラー表示には、今日のいつ頃に自分がどのタイプの活動 (① 走る、② 自転車、③ 歩く、④ 乗り物での移動、⑤ 静止) をしていたかが表示されます。①～⑤ の 5 項目のうち最大 4 つまで、同時に表示するように設定できます。画面下部には、活動タイプ別の積算時間が表示されます。表示項目の設定方法については、「[活動グラフ画面に表示する活動タイプを指定するには](#)」を参照してください。
- カラー表示中にタッチスクリーンをタップすると、現在時刻と活動の積算時間表示を消すことができます。再表示するには、もう一度タップします。

活動グラフを使う前に

活動グラフを表示するには、「毎日の活動記録を保存」を「ON」に切り替えることが必要です。また、消費カロリーをより正確に表示するためには、身長、体重、時計を装着する腕の設定が必要です。「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[毎日の活動記録を保存](#)」、「[身長](#)」、「[体重](#)」、「[時計を装着する腕](#)」の設定を行ってください。

活動グラフの画面中央に表示する数値の種類を変更するには

1. タッチスクリーンを右から左にスワイプすると表示される「設定」画面で、 をタップする。設定メニューが表示される。
2. 設定メニューを上下にスクロールして、「中央の数値／活動グラフ」をタップする。数値の種類一覧が表示される。
3. 一覧を上下にスクロールして、活動グラフ画面の中央に表示したい数値の種類をタップする。

重要

- 本機で心拍数を計測するためには、必ず計測を開始する前に本機を腕に装着してください。計測の開始後に本機を腕に装着すると、正しい計測ができない場合があります。装着のしかたは、「[本機装着時のご注意](#)」を参照してください。
- 画面中央に表示する数値の種類が「心拍数」の場合、心拍数の計測は、活動グラフ画面を表示すると同時に開始されます。このため、心拍数が表示されるまでには、多少時間がかかる場合があります。
- 本機が表示する消費カロリーや歩数などの数値は、表示を行うアプリによって測定方法や計算方法などが異なるため、ある程度のばらつきが生じます。例えば活動グラフが表示する消費カロリーは、他のアプリが表示する消費カロリーとは必ずしも一致しません。
- 活動グラフが表示する活動タイプ別のグラフや活動時間は、本機のセンサーによって検出された動作に基づいています。このため、表示される内容が実際の活動状況とは異なる場合があります。

活動グラフ画面に表示する活動タイプを指定するには

1. タッチスクリーンを右から左にスワイプすると表示される「設定」画面で、 をタップする。設定メニューが表示される。
2. 設定メニューを上下にスクロールして、「活動種別設定」をタップする。活動タイプの一覧が表示される。
3. 活動グラフ画面に表示したい活動タイプに ✓ を付ける。
 - 最大 4 つまで ✓ を付けることができます。

アクティビティアプリを使う

アクティビティアプリは、下記アウトドア・アクティビティの開始から終了までを計測し、結果を地図上の移動経路やデータ一覧（活動時間、移動距離など）で表示するアプリです。

Running	（ランニング）	Trail Running	（トレイルランニング）
Trekking	（トレッキング）	Paddle	（パドル）
Fishing	（フィッシング）	Snow	（スノー）
Cycling	（サイクリング）		

✔ 重要

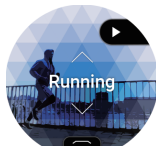
- 本機で心拍数を計測するためには、必ず計測を開始する前に本機を腕に装着してください。計測の開始後に本機を腕に装着すると、正しい計測ができない場合があります。装着のしかたは、「[本機装着時のご注意](#)」を参照してください。
- 本機で心拍数を計測するためには、[CASIO MOMENT SETTER+](#)の「[権限](#)」の「[センサー](#)」を有効にする必要があります。
- 本機で心拍ゾーンを表示するためには、誕生月と安静時の心拍数の設定が必要です。必ず「[心拍計測のための初期設定](#)」の操作で、設定を済ませておいてください。

アクティビティの計測を開始する

スノー以外のアクティビティは、次の操作で計測を開始します。スノーの場合については、「[スノーの計測を開始するには](#)」を参照してください。

1. タッチスクリーンの中央をタップするか下ボタン (APP ボタン) を押して、アクティビティの種類を選ぶ

- このとき、位置情報の取得がしやすいように、屋外の空の開けた場所に出てください。



アクティビティ計測開始前の画面（「START」画面）

2. 上ボタン (MAP ボタン) を押す

- トレッキング、フィッシングの場合は、この操作ですぐにアクティビティの計測が開始されます。その他の場合は、カウントダウンが開始されます。
- 「位置情報取得中」というメッセージが表示された場合は：位置情報が取得できるまで、屋外の開けた場所で、静止してお待ちください。
待たずに開始するには、上ボタンを押します。

3. カウントダウンが0になるのを待って、アクティビティを開始する

- 待たずに開始するには、上ボタンを押します。



アクティビティ計測中画面

スノーの計測を開始するには

「オート記録」が「OFF」のとき

1. タッチスクリーンの中央をタップするか下ボタンを押して、**Snow** を選ぶ
2. 上ボタンを押す
3. 計測を開始するには、もう一度上ボタンを押す

「オート記録」が「ON」のとき

1. タッチスクリーンの中央をタップするか下ボタンを押して、**Snow** を選ぶ
2. 上ボタンを押す
 - スノーの滑走開始を本機が検出すると、自動的に計測が開始されます。

アクティビティの計測を一時停止・再開・終了する

スノー以外のアクティビティは、次の操作で計測を一時停止・再開・終了します。スノーの場合については、「[スノーの計測を一時停止・再開・終了するには](#)」を参照してください。

1. 計測を一時停止するには、アクティビティ計測中画面で上ボタン※を押す

- 一時停止画面が表示されます。
- 計測を再開するには、上ボタンを押します。

※ フィッシングの場合は、[釣果画面](#)以外のアクティビティ計測中画面で上ボタンを押してください。

2. 計測を終了するには、一時停止画面の表示中に下ボタンを約2秒間長押しする

- 「履歴を保存しますか？」というメッセージが表示されます。

3. 履歴を保存するには「保存」を、破棄してよい場合は「破棄」をタップする

- 「保存」をタップすると、保存完了後に統計画面が表示されます。「破棄」をタップすると、「START」画面に戻ります。

スノーの計測を一時停止・再開・終了するには

「オート記録」が「OFF」のとき

1. 1本の滑走が終了したので計測を一時停止するには、アクティビティ計測中画面で上ボタンを押す

- 滑走結果画面(地図上の滑走軌跡)が表示されます。
- 次の滑走を始めるので計測を再開するには、上ボタンを押します。

2. 計測を終了するには、滑走結果画面の表示中に下ボタンを押す

- 「履歴を保存しますか？」というメッセージが表示されます。

3. 履歴を保存するには「保存」を、破棄してよい場合は「破棄」をタップする

- 「保存」をタップすると、保存完了後に統計画面が表示されます。「破棄」をタップすると、「START」画面に戻ります。

「オート記録」が「ON」のとき

- ユーザーの静止を本機が検出すると計測は自動的に一時停止し、一時停止画面が表示されます。次の滑走開始を本機が検出すると、自動的に計測が再開されます。
- 計測を終了するには、一時停止画面で上ボタンを押して滑走結果画面を表示し、上記手順2以降の操作を行ってください。

フィッシングの計測中に釣果を入力する

フィッシングの計測中に釣果画面を表示して上ボタンを押すか、🐟をタップします。



釣果画面

アクティビティアプリの画面について

アクティビティ計測開始前の画面(「START」画面)

タッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューを使って、次の操作が可能です。

メニュー項目	できること
ランニング画面 トレイルランニング画面	ランニング、トレイルランニングのアクティビティ計測中画面に表示する項目や、表示位置を設定します。
地図のダウンロード	ネットワーク通信ができない場所に行って地図を利用したい場合に、事前にネットワーク通信が可能な場所で地図をダウンロードしておくことができます。 本項目をタップしたら、「 地図のダウンロード 」の手順 2 以降を実行してください。 この操作で地図をダウンロードすると、「 地図の種類 」が自動的に「Mapbox」に切り替わります。
履歴/ルート取込 →アクティビティ履歴	アクティビティの履歴一覧(アクティビティが終了した日付時刻の一覧)を表示します。一覧から 1 つをタップすると、該当履歴の計測結果画面や地図画面を表示することができます。
履歴/ルート取込 →ルート取込 / Google ドライブ	Google ドライブに保存されているルートデータ*を地図上に取り込んで、そのルートを参照しながらアクティビティを実行できます。取り込んだルートは、アクティビティ計測中の地図上にグレーの線が表示されます。 ※ KML 形式または GPX 形式のファイルに対応。ただしファイルの作成元によっては書式の不適合が発生し、取り込みエラーとなる場合があります。

メニュー項目	できること
履歴/ルート取込 →履歴の自動保存	「履歴の自動保存」を有効にすると、アクティビティアプリによる記録を終了するたびに次のことが実行されるので、履歴をスマートフォンで表示することが可能になります。 • アクティビティのタイプや実施日時のデータを Google カレンダーに自動登録 • 移動ルート of データ (KML ファイル) を Google ドライブに自動保存 KML ファイルは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダーに保存されます。 操作については、「履歴の自動保存を有効にするには」を参照してください。
履歴/ルート取込 →スマートフォンで履歴を見る (Android のみ)	スマートフォンでカレンダー (Google カレンダーアプリまたはその他の対応アプリ) を表示します。カレンダーに登録されているデータをタップして、Google Earth などのアプリを使って移動ルートを地図上で見ることができます。 操作については、「スマートフォンで履歴を見るには」を参照してください。
履歴/ルート取込 →パートナーへリンク →Google Fit	本機を Google Fit へリンクします。本項目を「ON」にすると、アクティビティアプリによる記録を終了するたびに、計測結果が Google Fit に自動的に転送されます。

メニュー項目	できること
履歴/ルート取込 →アクティビティ統計	記録されている全アクティビティの統計データを一覧表示します。 アクティビティ統計をスマートフォンで見たいときは 1. 画面を下にスクロールし、「スマートフォンで参照」をタップする 2. お客様の Google アカウントを選択する • 統計データは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダーにテキストデータとして保存されます。 3. スマートフォンで Google ドライブアプリを起動し、「CASIO-WSD」フォルダーに保存したファイルをタップする
履歴/ルート取込 →ランニングパフォーマンス	ユーザーの心拍設定に基づいて、心拍ゾーン、最大酸素摂取量 (VO₂Max)、およびフルマラソンの予測タイムを表示します。「心拍計測のための初期設定」をしていない場合、本項目は選択できません。
ポイントナビ	指定した目的地の方位と、目的地までの距離を、アクティビティの地図上に表示することができます。詳しくは、「ポイントナビを使う」を参照してください。
MOMENT SETTER	アクティビティ中に役立つ情報をタイミングよく受け取るための、MOMENT SETTER 通知機能の設定ができます。詳しくは、「MOMENT SETTER アプリを使う」を参照してください。

アクティビティ計測中画面

計測中に下ボタンを押すと、計測データを表示する画面や地図画面などの間で切り替わります。表示される画面は、アクティビティの種類によって異なります。

履歴の自動保存を有効にするには

1. アクティビティの「START」画面を表示する。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴/ルート取込」、「履歴の自動保存」の順にタップする。
3. 表示されるアカウントの選択画面で、ご使用の Google アカウントを選択する。
4. 確認メッセージが表示されるので、「有効にする」をタップする。
 - ここで、Google カレンダーや Google ドライブへのアクセス許可を促すメッセージが表示されることがあります。この場合は、下にスクロールしてメッセージをお読みになり、✔ をタップしてください。
 - 「履歴の自動保存」が「ON」に切り替わったのをご確認ください。
 - 「ON」に切り替わると、以降はアクティビティアプリによる記録を終了するたびに、自動的に履歴がアップロードされるようになります。

スマートフォンで履歴を見るには

✓ 重要

- スマートフォンには、あらかじめ「Google カレンダー」、「Google ドライブ」、「Google Earth」の各アプリをインストールしておいてください。

1. スマートフォンで **Google カレンダー** を起動する。
2. **Google カレンダー** 上で、内容を見たい履歴データをタップし、詳細画面を表示する。
 - 詳細画面には、Google ドライブに保存されている KML ファイルへのリンクがあります。
3. **Google Earth** を使って KML ファイルを開く。

Android スマートフォンの場合：

1. KML ファイルへのリンクをタップする。
2. アプリの選択画面が表示されたら、Google Earth をタップする。
 - Google Earth が起動し、地図上に移動ルートが表示されます。

iPhone の場合：

1. KML ファイルへのリンクをタップする。
 - 「サポートされていないファイル形式です」というメッセージが表示されます。
2. 画面右上の「...」をタップし、表示される画面で「アプリで開く」をタップする。
3. 表示されるダイアログで「Google Earth」をタップする。
 - Google Earth が起動し、地図上に移動ルートが表示されます。

参考

- 本機を Android スマートフォンとペア設定している場合は、本機のメニュー操作で、スマートフォンの Google カレンダーを起動することもできます。

1. アクティビティの「START」画面を表示する。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴/ルート取込」、「スマートフォンで履歴を見る」の順にタップする。

計測中に表示される各種のデータについて

アクティビティ計測中に表示される各種のデータについては、次の点にご注意ください。

- アクティビティアプリが表示する気圧や高度をより正確な数値に補正する操作については、「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[気圧補正](#)」、「[高度補正](#)」、「[高度をロケーションで補正](#)」の各項目を参照してください。
- 速度、移動距離は本機またはスマートフォンの GPS 機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。
- 速度や距離は一定時間ごとに算出しているため、表示されている数値はある程度の時間遅れを伴っている場合があります。
- 本機が位置情報 (GPS) をはじめとした計測情報を取得できない場合、計測値は"----"と表示されます。

Google Fit へのリンクを有効にするには

1. アクティビティの「START」画面を表示する。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴/ルート取込」、「パートナーヘルリンク」、「Google Fit」の順にタップする。
3. 表示されるアカウントの選択画面で、ご使用の Google アカウントを選択する。
4. 確認メッセージが表示されるので、「接続する」をタップする。
 - 「Google Fit」が「ON」に切替わったのをご確認ください。
 - 「ON」に切替わると、以降はアクティビティアプリによる記録を終了するたびに、自動的に計測結果が Google Fit に転送されます。

スマートフォンの Google Fit でアクティビティアプリの計測結果を見るには

✔ 重要

- スマートフォンには、あらかじめ「Google Fit」アプリをインストールしておいてください。

1. スマートフォンで Google Fit を起動する。
2. 画面下の「日誌」のアイコンをタップする。表示される一覧で、本機から転送されたアクティビティの計測結果を選択し、詳細内容を表示する。

参考

- アクティビティの計測結果をスマートフォンの Google Fit で表示するためには、本機とスマートフォンが安定してネットワークに接続されている必要があります。
- スマートフォンの Google Fit に表示されるアクティビティの計測結果は、Running、Trail Running、Trekking、Fishing、Cycling、Paddle、Snow の名称で表示されます。なお Google Fit の日誌には、本機から転送された計測結果以外に、Google Fit が計測した結果も表示されることがあります。

Google Fit とは

日々のフィットネスデータを管理する Google のサービスです。詳しくは Google Fit ヘルプを参照してください。

MOMENT SETTER アプリを使う

MOMENT SETTER アプリを使うと、例えば次のような通知を受け取ることができます。

- アクティビティアプリでトレッキングの計測中、ゴールとして設定した標高 **2000 m** まであと **200 m** になったらバイブレーションで通知し、残り高度を表示する。
- 毎日、日の出時刻の **1 時間前** になったらバイブレーションで通知し、画面に日の出の時刻を表示する。



操作は、受け取りたい通知をメニューから選ぶだけです。

MOMENT SETTER による通知には、アクティビティアプリによるトレッキングやフィッシングなどアクティビティの計測中に受け取れるものと、アクティビティの計測とは無関係に受け取れるものがあります。

MOMENT SETTER アプリのメインメニュー

MOMENT SETTER アプリを起動すると、メインメニューが表示されます。

メインメニュー含まれる項目は、下表のとおりです。

項目名	タップすると表示されるメニュー
最近使用した	最近使用した 3 件分の通知のメニューが表示されます。「最近使用した」は、1 件以上の MOMENT SETTER 通知を使用すると、現れます。
登山・トレッキング※1、 フィッシング※1、サイク リング※1、パドル※1、ス ノー※1	それぞれ、アクティビティの種類(「 アクティビティアプリを使う 」を参照)と対応した通知のメニューが表示されます。各メニュー内の通知は、項目名と同じ種類のアクティビティを計測中の間だけ、受け取ることができます。
その他	アクティビティの種類に属さない通知のメニューが表示されます。このメニュー内の通知は、アクティビティアプリを使った計測中でなくても受け取ることができます。
一般設定	設定メニューが表示されます。「 アウトドア機能の共通設定について 」を参照してください。

※1 これらの項目をタップしたときに表示されるメニューは、アクティビティアプリからの操作で MOMENT SETTER を呼び出したときに表示されるメニューと同じです。

MOMENT SETTER の操作例

「登山・トレッキング」の通知を設定する操作例を紹介します。操作は MOMENT SETTER アプリ、またはアクティビティアプリから開始できます。

1. MOMENT SETTER アプリを起動し、メインメニューを上下にスクロールして「登山・トレッキング」をタップする。
または、アクティビティアプリの「Trekking」の「START」画面を下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「MOMENT SETTER」をタップする。
2. 表示される通知のメニューを左右にスクロールして、受けたい通知(例として「移動距離 1km ごとに、現在の高度を表示」)を表示する。
 - この時点では、通知の画面下部に表示されているチェックマークがグレーになっています。これは、この通知が OFF (通知を受け取れない状態) になっていることを表します。
 - 初期設定を変更する場合は次の手順 3 に進んでください。初期設定のままではよい場合は、手順 5 に進んでください。
 - 通知のメニューからひとつ前の画面 (MOMENT SETTER アプリのメインメニューまたはアクティビティアプリの「START」画面) に戻りたい場合は、MAP または APP ボタンを押します。
3. タッチスクリーンを上端から下にスワイプし、条件設定画面を表示する。
4. 「距離」をタップし、選択肢のひとつ(例えば「3km」)をタップする。
 - 変更が確定し、通知のメニューに戻ります。この時点で通知が ON になり、画面下部のチェックマークが  に変わります (このため、手順 5 の操作は不要です)。

5. 画面下部の  をタップして  に切り替える。

6. 電源ボタンを押して、**MOMENT SETTER** アプリを終了する。

- 以上の操作を行った後で実際に通知を受け取るためには、アクティビティアプリを起動して、トレッキングの計測を開始することが必要です。「[アクティビティアプリを使う](#)」を参照してください。

参考

- **MOMENT SETTER** からの通知は、一定時間が経過すると自動的に消去されます。
- 速度、移動距離、現在地の検出は本機またはスマートフォンの **GPS** 機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。特に渓谷やビル街、建物内など、受信状態の悪くなる場所では、精度が悪くなります。
- **MOMENT SETTER** のすべての通知を一括して **OFF** にすることができます。「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[すべて OFF に](#)」の操作を行ってください。

マルチタイムピースアプリを使う

モノクロ液晶で時刻と特定の情報(電池残量、または気圧／高度など)だけを表示する「マルチタイムピースモード」に入るためのアプリです。機能をフルに使う必要のない就寝中や、スマートデバイスの利用が禁止されているビジネスシーン、充電電池の消耗を極力抑えつつ最小限の情報だけは表示したい場合などにご利用ください。

✓重要

- マルチタイムピースモードでは、アプリ、位置情報、Wi-Fiの利用、スマートフォンとの連携(通知を受けるなど)は一切できなくなります。
- マルチタイムピースモードでは、本機の日付時刻に関する各種設定(タイムゾーンの自動切り替えや、サマータイムの反映を含むスマートフォンとの日付時刻同期設定など)を行うことができません。時刻合わせのため、少なくとも数日に1回程度はマルチタイムピースモードを終了して、本機とスマートフォンを接続状態にしてください。

表示スタイルについて

マルチタイムピースモードには、2種類の表示スタイルがあります。表示スタイルは、マルチタイムピースモードに入るときに、そのつど選択します。

アウトドアスタイル.....時刻、気圧、高度を表示します。

日常スタイル.....時刻、曜日・日付、電池残量、歩数※を表示します。



アウトドアスタイル



日常スタイル

※ 電池残量または歩数の択一表示となります(初期設定:電池残量)。歩数表示では、電池残量表示に比べて、充電電池の持続時間は4分の1程度になります。

マルチタイムピースモードの操作

これをするには	この操作を行う	
本機をマルチタイムピースモードに切り替える	1. アプリメニューで「マルチタイムピース」をタップする。 • 「マルチタイムピース」画面が表示される。 2. 「設定」をタップし、必要に応じて下記設定を変更する。	
	電池残量／歩数	日常スタイル選択時に画面下部に表示する数値を、電池残量と歩数の間で切り替える。
	モノクロ表示	マルチタイムピースモードでの表示を選ぶ。 ブライト: 白地に黒い文字を表示する。 ダーク: 黒地に白い文字を表示する。
	3. 「アウトドアスタイル」または「日常スタイル」をタップする。 4. 表示される説明を読み、「スタート」をタップする。 • Wear OS by Google の動作が停止してマルチタイムピースモードに入り、モノクロ液晶の時計画面が表示される。	
マルチタイムピースモード中にバックライトを点灯させる	電源ボタンを短く押す。バックライトが約 2 秒間点灯する。	

これをするには	この操作を行う
高度と気圧の値を補正する(アウトドアスタイルのみ)	 重要 • 下記操作では、標高の標識などが示す現在高度や、正確な気圧計で計測した現在の気圧に合わせて、本機の高度と気圧の値を入力します。この操作の意義については、「高度補正」および「気圧補正」の解説を参照してください。 1. MAP ボタンを約 2 秒間長押しして、画面下部の「ALTI」(高度)の数値を点滅させる。 • 高度値の補正モードに入る。 2. MAP ボタンまたは APP ボタンを使って数値を増減し、希望する数値に変更する。 3. MAP ボタンを約 2 秒間長押しして、画面上部の「BARO」(気圧)の数値を点滅させる。 • 気圧値の補正モードに入る。 4. MAP ボタンまたは APP ボタンを使って数値を増減し、希望する数値に変更する。 5. MAP ボタンを約 2 秒間長押しする。 • 補正モードを抜けて、通常の状態に戻る。
マルチタイムピースモードを終了し通常の機能に復帰する	電源ボタンを約 2 秒間長押しする。Wear OS by Google が起動し、通常の機能に戻る。

アウトドア機能の共通設定について

カシオ製アプリとカシオ製ウォッチフェイスは、コンパスや高度計などのアウトドア機能を共有しています。ここではカシオ製のアプリやウォッチフェイスで共通の設定について説明します。

共通設定の基本操作

共通設定の変更は、設定メニューを使って行います。どの画面から操作を開始するかによって設定メニューの表示のしかたが異なりますが、表示後の操作は同じです。設定を変更するには、次の操作を行います。

1. 設定メニューを表示する。

カシオ製ウォッチフェイスから：

1. タッチスクリーンを約 2 秒間長押しする。
2. ウォッチフェイス下部に表示される  をタップする。設定メニューが表示される。

ツールアプリから：

1. タッチスクリーンを右から左に何度かスワイプする。
2. 「設定」画面が現れたら、 をタップする。設定メニューが表示される。

MOMENT SETTER アプリ、アクティビティアプリから：

1. タッチスクリーンを下端から上にスワイプする。
2. 「一般設定」をタップする。設定メニューが表示される。

ロケーションメモリーアプリから：

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプする。
2. 表示されるメニューで「 設定」をタップする。設定メニューが表示される。

2. 設定メニューを上下にスクロールして、変更したい設定項目をタップする。

- タップするだけで設定が切り替わる項目や、タップすると表示される別画面で設定を行う項目など、動作は設定項目によって異なります。項目ごとの操作と解説は、「[設定項目一覧](#)」を参照してください。

設定項目一覧

以下は、設定メニュー（「[共通設定の基本操作](#)」を参照）に表示される設定項目の一覧です。設定メニューを表示してから、設定を変更したい項目の操作を実行してください。

参考

- 各設定項目の右端の文字は、その項目をどの画面から表示することができるかを表しています。例えば「WF」は、ウォッチフェイス (WF) 画面から表示可能な項目です。

WF:	ウォッチフェイス	MS:	MOMENT SETTER アプリ
TL:	ツールアプリ	LM:	ロケーションメモリーアプリ
AC:	アクティビティアプリ	TP:	マルチタイムピースアプリ

コンパス磁化補正 (WF)

操作

この設定項目をタップすると、コンパスの磁化補正を促すメッセージとアニメーションが表示されるので、アニメーションを参考に本機をいろいろな向きに動かす。磁化補正が完了するとメッセージが表示され、補正を始める前の画面 (ウォッチフェイス) に戻る。

解説

コンパスが正しい方位を指すように補正します。

この設定項目がグレイアウト表示になっている (タップしても反応しない) 場合は、コンパスの精度が十分高いため、磁化補正が不要な状態です。

コンパスの磁気偏角を補正 (WF/TL)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。「ON」にするとコンパスが指す北方位は真北になり、「OFF」にすると磁北になる。

解説

磁北と真北のずれを補正します。

高度補正(WF/TL/AC)

操作

1. 「高度をロケーションで補正」が「ON」の場合は「OFF」にする。
2. 「高度補正」をタップする。
3. 高度の入力画面が表示されるので、現在地の標高を入力する。
 - 数値を変更したい桁をタップし、▲ / ▼ を使って数値を増減する。
 - 手動で入力した高度の補正值をリセットするには、⊖ をタップする。

✔ 重要

- ⊖ をタップして補正值をリセットすると、本機が表示する高度は国際標準大気 (ISA) の定義に基づく簡易計算値となるため、実際の高度との誤差が大きくなります。リセット後は、現在地の標高を入力しなおすことをおすすめします。
- 「高度をロケーションで補正」を「ON」に切り替えると、手動で入力した高度補正の値は無効になります。

解説

手動で現在地の正確な標高を入力することで、本機が表示する高度と実際の標高の誤差を小さくします。現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。登山の途中では、こまめに標高の標識などと本機が示す高度を照らし合わせて、この操作を行うことをおすすめします。

高度をロケーションで補正 (WF/TL/AC)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

解説

本機またはスマートフォンの位置情報 (GPS) に基づいて自動的に高度補正を行いたい場合には、本項目を「ON」にします。「高度補正」を使って手動で高度補正を行う場合は、本項目を「OFF」にすることが必要です。

✓ 重要

- 本項目を「ON」にしたときの補正機能は、GPS の受信状態が極めて良好なときだけ動作し、渓谷やビル街など受信状態の悪くなる場所では動作しません。
- 補正動作が実行された場合でも、GPS で測定した値をそのまま利用するため、必ずしも実際の標高や海拔高度とは一致しません。ジオイド高の影響があることから、自動補正した場合も高度の数値は誤差を含んだものになります。日本では約 40m の誤差を含みます。
- より高い精度で高度を表示したい場合は、本項目を「OFF」にした上で、現地の正確な標高を手動で入力する「高度補正」の操作をこまめに行うことをおすすめします。

気圧補正 (WF/TL/AC)

操作

この設定項目をタップすると気圧の入力画面が表示されるので、正確な気圧計で計測した現在の気圧を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲ / ▼ を使って数値を増減する。
- 手動補正をリセットし、圧力センサーの計測値に基づく気圧表示に戻すには、⊙ をタップする。

解説

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。手動で補正するには、正確な気圧計で計測した現在の気圧を、本項目を使って入力します。

中央の数値／活動グラフ(TL)

操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、活動グラフ画面の中央に表示したい数値の種類をタップする。

解説

ツールアプリの活動グラフ画面の中央に表示する数値の種類を切り替えます。

ホームタウン(WF)

操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、ホームタウンとして指定したい都市名をタップする。

解説

ウォッチフェイス(世界時計、トラベラー)に表示されるホームタウンを指定します。

文字板のカラー(WF)

操作

この設定項目をタップすると表示される選択肢から、使用したいカラーをタップする。

解説

ウォッチフェイス(オーセンティック、マルチ、トラベラー、ロケーションなど)の文字板のカラーを変更します。

モノクロ表示(WF/TL/AC/TP)

操作

この設定項目をタップするたびに、文字板の背景が「ダーク」と「ブライト」の間で切り替わる。

解説

本機のモノクロ液晶による表示のしかたを切り替えます。この設定は、次のすべてに共通して適用されます。

- ウォッチフェイス「2 レイヤー」のモノクロ表示
- ツールアプリのモノクロ表示
- アクティビティアプリのモノクロ表示
- マルチタイムピースモード時のモノクロ表示

ポイントナビ(TL/AC)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

解説

本項目の設定を「ON」にすると、ポイントナビによるナビの実行中に、目的地の方位を表すアイコンが、コンパスのカラー表示上に現れます。

GPS 時刻補正 (WF)

操作

1. 屋外の空の開けた場所まで移動する。
2. カシオ製ウォッチフェイスからの操作で設定メニューを表示し、「GPS 時刻補正」をタップする。
3. 表示されるメッセージを確認した上で、「補正」をタップする。
4. GPS 受信が完了するまでしばらく待つ。

解説

本機は通常、スマートフォンとの同期によって時刻合わせを行います。スマートフォンの電池切れや紛失等で、長期間スマートフォンとの同期ができないときは、時刻を合わせたいそのつど、上記の操作を実行してください。実行するたびに、GPS 情報による一時的な時刻合わせが行われます。

GPS 受信状態の良好な、空の開けた場所での実行をおすすめします（「[受信に適した場所と適していない場所](#)」を参照）。

港を設定 (TL)

操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、指定したいポイント名（港の名前や海に近い都市名）をタップする。

解説

ツールアプリの「タイドグラフ」による潮汐情報の表示対象となるポイント（港）を指定します。

現在地で再計算 (TL)

操作

この設定項目をタップすると、現在地の位置情報の取得が開始される。位置情報の取得に成功するとツールの画面に戻り、ツール画面には再計算後のデータが表示される。

解説

ツールアプリの画面に「DEMO」と表示されているとき、または「000 分前の位置情報を元に計算した結果を表示しています。」というメッセージが表示されているときは、この操作を行います。現在地の位置情報を本機またはスマートフォンの GPS 機能で取得し、その情報に基づいて、ツールアプリ画面に表示するデータが再計算されます。

毎日の位置情報を保存(WF/MS/LM)

操作

この設定項目をタップして、「6分ごと」、「1分ごと」、「OFF」のいずれかを選択する。

✔ 重要

- 「OFF」から「ON」に切り替えるには、この設定項目をタップすると表示される確認ダイアログで「6分ごと」または「1分ごと」をタップすることが必要です。

解説

ロケーションメモリーアプリに関連した設定項目です。

本項目の設定を「ON」にすると、アクティビティアプリで計測を実施していないときでも、日常的な位置の履歴を残しておくことができるようになります。

✔ 重要

- 位置情報の履歴は、内蔵ストレージの空き容量がなくなると、古いものから順に自動的に削除されます。あらかじめご了承ください。

毎日の活動記録を保存(WF/TL/MS)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

✔ 重要

- 「OFF」から「ON」に切り替えるには、この設定項目をタップすると表示される確認ダイアログで「承認」をタップすることが必要です。

解説

ウォッチフェイス(ハートレート、オーセンティック、マルチ)、ツールアプリ(活動グラフ)、MOMENT SETTER アプリに関連した設定項目です。

本項目の設定を「ON」にすることで、運動時間やエネルギー消費量の表示など、ユーザーの活動記録を前提とした各種機能が利用可能となります。こうした機能を使いたい場合は、必ず「ON」に切り替えてください。

身長(TL/MS)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面を使って、身長を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

解説

本項目に入力した数値は、ツールアプリの「活動グラフ」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

体重(TL/MS)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面を使って、体重を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

解説

本項目に入力した数値は、ツールアプリの「活動グラフ」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

エネルギーの単位(WF/TL/MS/AC)

操作

この設定項目をタップするたびに、「Cal」(キロカロリーまたは大カロリー)と「kJ」(キロジュール)の間で切り替わる(初期設定:Cal)。

解説

ウォッチフェイス(オーセンティック、マルチ)、ツールアプリ(活動グラフ)、MOMENT SETTER アプリ、アクティビティアプリに関連した設定項目です。エネルギー消費量が、ここで指定した単位で表示されます。

時計を装着する腕(TL/MS)

操作

この設定項目をタップするたびに、「右腕」と「左腕」の間で切り替わる。

解説

本項目の設定は、ツールアプリの「活動グラフ」やウォッチフェイスの「ハートレート」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

ゴール標高(AC)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面で、目標高度を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

解説

アクティビティアプリを使ってトレッキングの計測を開始する前に、本項目を使って目標高度を入力します。

ゴール距離(AC)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面で、ゴールまでの距離を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

解説

ランニングまたはトレイルランニングのアクティビティ計測を開始する前に、本項目を使ってゴールまでの距離を入力します。アクティビティ計測中は、ここで入力した値に基づいて、ゴールまでの残り距離が表示されます。

長い距離を走るほど、距離の誤差は積算で大きくなります。このため、ゴールまでの残り距離の数字はゴールに近づくほど正確ではなくなります。あくまでも目安としてご利用ください。

ルート参照表示(AC)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

解説

アクティビティ計測中に、本機に現在取り込まれているルートデータ※を地図上に表示するか、しないかを指定します。本機に現在取り込まれているルートデータがこれから走行するルートではない場合や、ルートデータを表示せず走行したルートだけを表示したい場合には、本設定を「OFF」にしてください。なお「OFF」に切り替えても、取り込み済みのルートデータは、本機に保持されます。

- ※ ルートデータの取り込みについては、「履歴/ルート取込→アクティビティ履歴」および「履歴/ルート取込→ルート取込 / Google ドライブ」を参照してください。

オートポーズ(AC)

操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

解説

ランニングとサイクリングの各アクティビティに関連した設定項目です。本項目の設定が「ON」の場合、本機はユーザーの動作を検出して、ユーザーが移動を停止している間(例えばランニング中の信号待ちなど)または移動が非常に低速になっている間は、自動的に計測を一時停止し、その時間帯を計測データから除外します。

スタートカウントダウン(AC)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面で  /  をタップし、カウントダウン時間を 0～10 秒の間で設定する。

解説

ランニング、トレイルランニング、サイクリング、パドルの各アクティビティに関連した設定項目です。これらのアクティビティ計測を開始するために「START」をタップしてから(または上ボタンを押してから)計測が開始されるまでの、カウントダウン時間を設定します。「0 秒(OFF)」に設定すると、カウントダウンなしで計測が開始されます。

ラップ(AC)

操作

この設定項目をタップして、「10km 毎」、「5km 毎」、「1km 毎」のいずれかを選択する。

解説

ランニングのアクティビティに関連した設定項目です。ランニングの計測中は、ここで選択した距離を走行するごとに、本機は自動的にラップタイムを記録します。ランニングの計測画面には、これまでに走行した区間内での直前のラップタイム(ラップ)と、すべてのラップタイムの平均値(平均ラップ)を表示することが可能です。

ルートの色(AC)

操作

アクティビティアプリからの操作で設定メニューを表示し、「ルートの色」をタップする。「ルートの色」の凡例が表示される。

解説

アクティビティアプリの地図画面に現れる移動ルートは複数の色で描かれます。この項目は、各色が何を意味するかの説明を表示するもので、特に何かの設定を行うものではありません。

オート記録(AC)

操作

1. アクティビティアプリでスノーの「START」画面を表示し、「GO」をタップする。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、「一般設定」をタップする。
3. 表示される設定メニューを上下にスワイプし、「オート記録」をタップする。
 - タップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

重要

- 「オート記録」の設定は、上記 1、2 の操作で表示される設定メニューからのみ、変更可能です。

解説

アクティビティアプリのスノーに関連した設定です。本項目の設定が「ON」の場合、本機はユーザーの動作を検出して自動的にアクティビティの計測を開始します。「OFF」の場合は、ユーザーが手動で計測を開始することが必要です。初期設定は「OFF」です。

地図の種類(AC/MS/LM)

操作

この設定項目をタップするたびに、「Google マップ」と「Mapbox」の間で切り替わる。

解説

アクティビティアプリとロケーションメモリアプリで表示される地図の種類を、Google マップまたは Mapbox のいずれかから選択します。

✔ 重要

- 「Mapbox」選択時に表示される地図には、OpenStreetMap の地理情報データが利用されています。OpenStreetMap の地理情報データは誰でも自由に編集することができるため、地図上に表示される情報が実際とは異なる場合があります。
- 地図のダウンロードを行った直後は、自動的に「Mapbox」に切り替わります。

地図のスキン(AC/MS/LM)

操作

この設定項目をタップすると表示される画面で、使用したい地図のスキンの名前をタップする。

解説

アクティビティアプリとロケーションメモリアプリで表示される地図のスキンを切り替えます。場所や目的に応じて、地形図や衛星画像などの選択肢から選ぶことができます。

地図のダウンロード (AC/MS/LM)

操作

1. 「地図のダウンロード」をタップする。
 - 地図のスキン名一覧が表示される。
2. 一覧を上下にスクロールして、スキン名のひとつをタップする。
 - 現在地を中心とした地図画面が表示される。
3. 地図をスクロールして、ダウンロードする地図の中心にしたい位置を画面の中央に表示させる。
 - APP ボタン(－)を使って地図を縮小し、広域地図を表示してから、地図をスクロールすることもできます。このとき、画面中央の円で囲まれた範囲が、ダウンロードできる最大の範囲を表します。
4. MAP ボタン(＋)と APP ボタン(－)を使って地図を拡大/縮小し、ダウンロードしたい範囲の地図を画面に表示する。
 - このとき画面に表示されている範囲が、ダウンロードされるおおよその範囲を表しています。
5. 「地図を決定」をタップする。
 - このとき、Wi-Fi の利用を促すメッセージが表示されることがある(下記「重要」を参照)。
 - 地図のダウンロードが開始され、進行状況が表示される。ダウンロードをキャンセルするにはxをタップする。
 - ダウンロードが完了すると、ダウンロードされた地図が表示される。

▼ 重要

- 地図のダウンロード中は、ダウンロードをキャンセルする場合を除き、本機を操作せずにダウンロードが完了するまでお待ちください。操作すると、ダウンロードが中断されることがあります。
- 地図データは容量が大きいので、Wi-Fi のご利用をおすすめします。
- ダウンロードした地図を表示する際は、拡大できる段階に制限があります。手順 4 で指定する地図の範囲を狭くするほど、拡大したときの地図の表示内容はより詳細になります。手順 4 では、地図の範囲を必要最小限にとどめておくことをおすすめします。
- 手順 5 で「地図を決定」をタップすると、Wi-Fi の利用を促すメッセージが表示されることがあります。Wi-Fi 通信環境のある場所では「Wi-Fi 利用」をタップして、通信手段を Wi-Fi に切り替えることをおすすめします。
- 本機に保存可能な Mapbox の地図データ(地図の範囲とスキンの種類)は、最大 5 つです。5 つを超えてダウンロードしようすると、ダウンロード済み地図の消去を促すメッセージが表示されますので、不要な地図を消去してからダウンロードの操作を再開してください。

解説

本項目はアクティビティアプリとロケーションメモリアプリに関連した設定項目です。「地図の種類」として「Mapbox」が選択されている場合に、本機のメモリーに地図をダウンロードしておくための機能です。ネットワーク通信ができない場所に行って地図を利用したい場合は、本項目を使って、事前にネットワーク通信が可能な場所で地図のダウンロードを行ってから、現地へ向かってください。

ダウンロード済み地図 (AC/MS/LM)

操作

この設定項目をタップすると、ダウンロード済み地図が表示される。

- 別のダウンロード済み地図に表示を切り替えるには、タッチスクリーンを左右にスワイプする。
- 表示中の地図を消去するには、タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、「この地図を消去」をタップする。

解説

「[地図のダウンロード](#)」の操作で本機に保存した地図の確認や消去が可能です。

トラッキング (アクティビティ) (AC/LM)

操作

この設定項目をタップするたびに、「精度優先」と「バッテリー優先」の間で切り替わる。

解説

アクティビティアプリに関連した設定項目です。「精度優先」を選ぶと GPS 測位や表示の頻度が高くなり、地図上に移動ルートを表示する際の精度が上がります。「バッテリー優先」を選ぶと移動ルートの表示精度がやや劣る代わりに、バッテリー消費を節約できます。

トレッキングやフィッシングの計測を長時間実施したいような場合を除いては、速度や距離の計算がより正確に行われ、表示がより頻繁に更新される「精度優先」をご利用ください。

✔ 重要

- アクティビティアプリでサイクリング、パドル、スノーを計測する場合、本設定が「バッテリー優先」であっても比較的短い間隔で GPS 測位が実行されるため、節約できるバッテリー消費量は限定的です。あらかじめご了承ください。

すべて OFF に (MS)

操作

1. この設定項目をタップすると、MOMENT SETTER のすべての通知を OFF にしてよいか確認するダイアログが表示される。
2. すべて OFF にするには「OFF にする」をタップし、そのままにするには「キャンセル」をタップする。

解説

MOMENT SETTER アプリのメニューに付けたチェックマークを一括して外し、すべての通知を OFF にする機能です。この操作を行うと、操作前の状態に一括して戻すことはできません。(MOMENT SETTER アプリのメニューから、個別に設定し直すことが必要となります。)

ルート表示 (LM)

本項目については、「[移動ルートが地図上に表示されるように設定する \(ルート表示\)](#)」を参照してください。

また来たい (LM)

本項目については、「[「また来たい」マークの通知設定を変更する](#)」を参照してください。

総合最大心拍数 (WF/MS/AC)

操作

1. ウォッチフェイス「ハートレート」またはアクティビティアプリからの操作で設定メニューを表示し、「総合最大心拍数」をタップする。
2. 「誕生月から計算」または「手動で設定」のいずれかを選択する。
3. 「手動で設定」を選択した場合は、表示される入力画面で、 /  を使って最大心拍数を手動で入力し、 をタップする。

解説

総合最大心拍数は、[入力した誕生年月](#)から自動計算する設定、または手動設定が可能です。手動設定の場合は、20～220 の間で入力します。ここでの設定は、心拍ゾーンの計算用に使われます。日頃からトレーニングをしている方の場合、「誕生月から計算」を選択すると、一般的に低めの値になります。日頃のトレーニングに基づいて、ご自身の最大心拍数を把握している方は、「手動で設定」を選択してください。

心拍ゾーンアラート (AC)

設定の目的

- 心拍トレーニングを行うときに、目標としている心拍ゾーンを超えないように警告します。
- 長時間運動するときに、オーバーワークやスタミナ切れを防ぐための警告を出します。

操作

- 誕生月と安静時の心拍数が未入力の場合は、それぞれ入力する。
 - 「[心拍計測のための初期設定](#)」を参照してください。
- アクティビティアプリからの操作で設定メニューを表示し、「心拍ゾーンアラート」をタップする。
- 表示される選択肢から、いずれか1つを選ぶ。

選択肢	内容
目標ゾーン 4	ランニングまたはトレイルランニングの計測中に、目標の心拍ゾーンを超えると、心拍ゾーンアラートを表示します。例えば「目標ゾーン 3」を選んだ場合、計測中の心拍数がゾーン 4 に入ったときに、警告が表示されます。
目標ゾーン 3	
目標ゾーン 2	
目標ゾーン 1	
OFF	心拍ゾーンアラートを表示しません。

- 「OFF」以外を選んだ場合は、次に表示される画面で「表示のみ」または「表示+通知」のいずれかを選択する。

選択肢	内容
表示のみ	目標の心拍ゾーンを超えている間は、アクティビティアプリ画面（ランニングまたはトレイルランニングの計測画面）で「ZONE」の文字が点滅します。
表示+通知	上記の「ZONE」表示に加え、目標の心拍ゾーンを超えたタイミングで、2度の短いバイブレーションで通知します。

解説

ランニング、トレイルランニング、トレッキング、サイクリング、パドル、スノーの各アクティビティに関連した設定項目です。これらのアクティビティ計測中に、ここで指定した心拍ゾーンを超えると、アラートを出す機能です。

困ったときには

本機で操作で困ったときには、ここでの説明をお読みください。

それでも解決しない場合は、下記のウェブサイトをご参照してください。

<https://support.casio.jp/faq.php?cid=019>

本機が操作できなくなったら

本機が正常に操作できなくなった場合は、本機を再起動してから、再度操作をお試しください。再起動の操作については、下記ウェブサイトをご参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

上記の操作ができなかった場合は

次の操作で本機を強制終了してください(強制終了後、本機は自動的に再起動します)。

1. 本機の画面表示が消えるまで、電源ボタンを押し続ける。

- 本機が自動的に起動するまで、しばらくお待ちください。

エラーコード/エラーメッセージ一覧

コード メッセージ	対処
1001、1009 正常に充電できません。このメッセージが繰り返し出る場合はサービスにお問い合わせください。	本機から充電ケーブルを取り外し、電源を切ってから、再度充電を行ってください。充電する際は、必ず本機に付属の AC アダプターと充電ケーブルを使ってください。 同じメッセージ/エラーコードが何度も表示される場合は、充電電池の劣化や故障が考えられます。修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
1003 温度低下のため、充電できません。	本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。
1004、1007 温度上昇のため、充電できません。	
1021 センサーからデータを取得できなかった可能性があります。画面操作で設定から再起動してください。	本機に内蔵されている圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー、光学式センサー（心拍計）のいずれかから、データが取得できなかった可能性があります。一度、本機を再起動してください。再起動するには、ウォッチフェイス（時計表示）画面を上から下にスワイプすると表示される画面で ⚙️ をタップし、「システム」、「再起動」の順にタップします。 再起動後も同じメッセージ/エラーコードが何度も表示される場合は、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

コード メッセージ	対処
9000 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	再起動するには、1 時間以上充電した上で、画面表示の色が変わるまで、電源ボタンを約 12 秒間押し続けてください。
9001、9002、9003 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
9010 本体温度上昇・保護のため、電源をオフします。	本機を腕から外し、直射日光の当たらない涼しい場所 (10℃～30℃くらいの環境下) にしばらく放置してください。本機の温度が十分に下がったら、電源を入れることができます。

ご注意

本機をお使いになる上での、各種の注意事項です。

使用上のご注意

表示情報の精度について

タイドグラフの注意

日本の海域では、海上保安庁水路部発行、書誌 742 号日本沿岸潮汐調和定数表(平成 4 年 2 月発刊)、および気象庁・潮位表掲載地点一覧表(2015 年)から得られる調和定数データを使用して、干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。それ以外の海域では、NOAA, NOAA CO-OPS, or the NOAA Tides & Currents website および、U. S. DEPARTMENT OF COMMERCE / COAST AND GEODETIC SURVEY January 1942 TH-1 から得られる調和定数データを使用して干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。

実際の潮汐現象は天候や季節などさまざまな条件に左右され、計算どおりに規則正しく起こらないこともあり、場合によっては、実際の潮汐とずれてしまうことがあります。このような事情がある為、本アプリおよび時計のタイドグラフ機能は、あくまでも参考程度にしてください。危険を左右する潮汐の判断材料には決して使用しないでください。また、航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

日の出日の入りに関する注意

日の出、日の入り計算は、方位角を北:0 度、東:90 度、南:180 度、西:270 度で行っています。計算結果は数秒ほどの誤差を含み、高緯度ほど誤差が大きくなります。平坦な地平線を想定しており、固有地形は考慮していません。

月齢に関する注意

本機は次の計算に基づいて、月齢を表示しています。

- (1) 関数計算した太陽と月の座標を使って、「離角」を計算する。
 - (2) 「離角」と「平均的な月齢」の相関関係から、月齢を計算する。
- 月齢周期の平均は 29.53 日ですが、実際には ± 1 日程度の変動があるため、 ± 1 日程度の誤差が生じることがあります。

防水性

本機は 5 気圧防水の性能を備えており、着用したまま水仕事や水泳をすることが可能です。ただし、次のことにご注意ください。

- 以下のことは避けてください。
 - － ウィンドサーフィン、スキンドайビング(素潜り)、スキューバダイビングでの使用
 - － 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」ボタンを操作すること
 - － 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」本機を充電すること
 - － 入浴のときに使用すること
 - － 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用するこ
 - － 本機を手につけたまま手洗い、洗顔、家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 水中で使用した場合、タッチスクリーンは動作しません。
- 水仕事や水泳中は、心拍数データの精度が低くなる可能性があります。
- 海水、淡水にかかわらず水中で使用したり、砂や泥がついたりしたときは、次の要領で本機を真水で洗ってから、十分に乾かしてください。
 1. バケツなどに水道水などの真水を入れる。
 2. その中に本機を入れ、10 分程度さらす。
 3. 塩分、ゴミ、泥、砂などがよく落ちるように本機を軽くゆすりながら洗う。
 - － タッチスクリーンが汚れた状態のとき、そのまま洗わずにこすることはおやめください。
 - － 水洗い後は清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取り、風通しの良い日陰にしばらく放置して、本機を完全に乾燥させてください。
 - － 本体裏ぶた中央のセンサー表面の汚れ等を除去する場合は、柔らかい布で拭き取るようにし、センサー表面を傷付けないように注意してください。
- 防水性を保つために定期的(2～3 年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 防水性能に問題が生じるため、電池交換の際には必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

- 本機が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れたりした場合など、外気と本機内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。なお、曇りが消えなかったり、本機内部に水が残っていたりする場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 本機や充電ケーブルが濡れた状態で、充電しないでください。濡れている場合は水分をよく拭き取り、十分に乾いてから充電してください。

GPS 機能の利用について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の GPS 衛星から送信される電波を利用して、地球上の位置を計測するシステム (全地球測位システム) のことです。この GPS 機能を使うと、GPS 衛星から電波を受信して、現在の位置と時刻を計算することができます。現在の位置を計算することを、「測位」といいます。

受信に適した場所と適していない場所

- GPS 電波の受信に適しているのは、ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外です。
- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
 - － 上空の見える範囲が狭い場所
 - － 樹木やビルの近く
 - － 駅や空港など混雑した場所、交通量が多く電波障害がある場所
 - － 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
 - － 上空が見えない場所
 - － 地下、トンネル内、水中
 - － 屋内 (窓の近くでは受信することがあります)
 - － 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く
- GPS 衛星は常に移動しているため、お使いになる場所や時刻などによっては測位に時間がかかったり、測位できない場合があります。

海外での利用について

国や地域によっては、GPS の使用や位置情報ログを収集することなどが規制されている場合があります。本機には GPS 機能が内蔵されておりますので、本機を海外（本機を購入した国以外の国や地域）で利用したい場合は、移動先の国や地域に GPS 機能付き製品の持ち込みや、位置情報ログの収集に対する禁止、制限、その他規則などがないか、事前に大使館や旅行代理店などにご確認ください。

長期間本機を使用していなかった場合について

長い間充電しないまま本機を使用していなかった場合、本機の使用を再開した直後は、GPS 電波を受信して測位するのに長い時間がかかる場合があります。

GPS 機能に関するご注意

- 電波の受信を禁止または制限されている場所では、下記の操作で本機の「位置情報」を「OFF」に切り替えてください。
 1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
 2. 下にスクロールして「接続」、「位置情報」の順にタップする。
 3. 表示される画面で「位置情報」をオフにする。
- 地図データには、不正確な情報が含まれる場合があります。また、すべての国や地域には対応しておりません。
- 国や地域の法律や制度により、地名や住所名が正しく表示されない場合があります。
- 本機の GPS を使用した位置情報は参考であり、その場所に行くことができない場合や困難な場合があります。また地図情報には山岳地、ジャングル、砂漠など危険な場所や、治安が悪い場所が存在しますので、現地の規制や最新の治安情報、安全性を事前に十分ご確認ください。
- 1.5GHz 帯の電波を利用した携帯電話などを本機の近くで使うと、うまく GPS 衛星の電波を受信できなくなる場合があります。
- GPS 衛星による測位は、電波の状況により数百メートルの誤差を生じる場合があります。
- 飛行機など非常に高速な乗り物での移動時は、位置情報を取得できません。
- 測量目的などの高精度な計測には使用できません。
- 船舶や航空機、車両、人などの航法目的には使用できません。
- 本機が測位に使用する GPS 衛星、GLONASS 衛星、または QZSS 衛星は、それぞれ米国、ロシア、日本が運営管理しています。このため各国政府の都合により、いつでも変更されたり、使えなくなったりする可能性があります。

Wi-Fi 接続について

本機を Wi-Fi に接続して使用する場合は、本機の電池残量や使用環境にご注意ください。電池残量が少なかったり、極端に気温の低い場所で使用したりすると、システム保護のため Wi-Fi の動作が自動的に停止する場合があります。

MIL-STD-810G

米国防総省が制定した MIL-STD-810G の下記項目に準拠しております。

- 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。
- 正しくお使いいただくために、「**使用上のご注意**」、「**お手入れについて**」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、発熱、発火、感電、傷害、故障の恐れがあります。
- 本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

落下	Method 516.7 Procedure IV に準拠した試験を実施。
振動	Method 514.7 Procedure I に準拠した試験を実施。
湿度	Method 507.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
太陽光照射	Method 505.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
低圧保管	Method 500.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
低圧動作	Method 500.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
低温保管	Method 502.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
温度衝撃	Method 503.6 Procedure I -C に準拠した試験を実施。
氷結	Method 521.4 Procedure I に準拠した試験を実施。

保護シールについて

- 本機の本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールや紙タグが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールや紙タグをはがさずにご使用になると、「本機の本体やバンド」と「シールや紙タグ」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

充電

- 充電中は本機および AC アダプターが若干温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 電池残量が十分なときは、なるべく充電しないでください。電池残量が少なくなってから充電することで、本機の充電電池を長持ちさせることができます。満充電になったら充電ケーブルを外しておくことをおすすめします。次のような充電のしかたは、充電電池の劣化を早める原因となりますので、ご注意ください。
 - － 満充電の状態、または満充電に近い状態で、頻繁に充電する
 - － 何日間も充電したまま放置する
 - － 電池残量が十分なのに、1日の間に何度も、本機への充電ケーブルの着脱を繰り返す
- 湿気やほこり、細かな金属異物が多い場所、振動が頻発する場所、固定電話、テレビ、ラジオなどの近くでは、充電しないでください。
- 本機の充電ケーブルは磁気を帯びているため、鉄分を含んだ砂が付着するなどして充電できなくなる場合があります。泥や砂で充電端子やケーブルが汚れた場合、端子とケーブルの砂を十分に取り除いてから充電してください。
- 極端な低温または高温の場所では、充電ができなかったり、100%までの満充電ができなかったりすることがあります。本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。

心拍計測機能について

- 本機は背面(裏ぶた)に内蔵したセンサーによって計測された脈拍に基づく推定心拍数を表示します。この数値は、下記等の条件によって誤差が生じます。
 - － 本機の腕への装着状態
 - － お客様の腕の特徴や状態
 - － アクティビティのタイプや強度
 - － センサー周辺の汚れや汗等
- このため、本機が表示する心拍数データはあくまで参考値であり、その正確性が保証されるものではありません。
- 本機の心拍計測機能はレクリエーションで使用することを目的としており、医療を目的としたいかなる用途にも使用することはできません。

バンド

- 心拍計測のためにバンドをしっかりしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。計測終了後はいったんバンドを緩めてから、時計本体と腕の間に指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化などにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、本機の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、使用をやめてください。点検、修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると表示パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。表示パネルは、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。高温によって動作停止した場合は、本機の温度が十分に下がるまでは動作しませんので、しばらくお待ちください。

低温環境での使用について

- 充電機の特性上、本機が十分に充電されていても、寒い場所では使用時間が短くなります。
- 極端に気温の低い場所で使用すると、システム保護のため Wi-Fi の動作が自動的に停止する場合があります。

磁気

- 磁気のある場所では、一部機能が正常に動作しない場合があります。また、極度に強い磁気 (医療機器など) は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケースや樹脂バンドに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。
- 充電しないときは充電ケーブルを AC アダプターから抜き、AC アダプターをコンセントから外して保管してください。また、充電ケーブルは磁気を帯びていますので、磁気カード、精密機器、アナログ時計に近づけないようにして保管してください。

樹脂部品

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしたりしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま放置したりすると、色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し、色落ちすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

センサー

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などで突いたり、ゴミ、ほこりなどが入ったりしないようにご注意ください。なお本機を海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

金属部品

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- 時々、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

表示パネル

- 表示パネルは、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。
- 本機で使用している表示パネルは円形ではなく、円の下側が平らになった形状です。円形のウォッチフェイス等、一部が表示されないデザインもありますが、故障ではありません。
- 本機の表示パネルは高精度な技術で作られており、有効画素は 99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、表示パネルの特性で、故障ではありません。

お手入れについて

お手入れのしかた

本機は衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ、汗、水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

お手入れを怠ると

さび

- 本機で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - － 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、本機の性能が劣化することがあります。

劣化

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置したりすると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

かぶれ

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれることがあります。特に樹脂バンドは、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

充電式電池の取り扱いについて(電池リサイクルのお願い)



Li-ion 00

本機が内蔵しているリチウムイオン電池は、貴重な資源です。本機を廃棄する際は、資源リサイクルのため、正しい手順に従ってください。

本機を廃棄する際の手順に関しては、下記のウェブサイトを参照してください。

<https://support.casio.com/wsd/ja/discard/>

✓ 重要

- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

個人情報の保護に関するご注意

本機を譲渡または廃棄する際は、お客様の個人情報を保護するため、事前に必ずスマートフォンとのペア設定を解除してください。操作については、下記のウェブサイトアクセスし、「スマートフォンとのペア設定を解除」と入力してから検索ボタンを押してください。

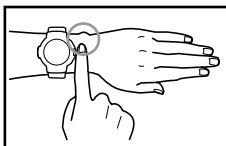
<https://support.casio.jp/faq.php?cid=019>

本機装着時のご注意

良好な精度で心拍計測をするためには、装着のしかたが重要です。本機を腕に装着する位置を、下記の要領で調整してください。

1. 本機を腕にゆるめに装着し、電源ボタンの右側※に指を1本以上置く(図1)

図1



- 尺骨の突起(下図の丸囲み部分)に本機がかぶる場合、指の本数を増やして尺骨の突起を避けてください。

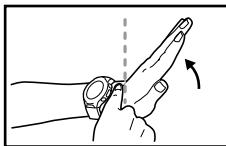


- 尺骨の突起位置や形状には、個人差があります。

※ 本機を右腕に装着する場合は、圧力センサー(左側面)の左側に指を置いてください。

2. 手首を曲げたときに、手首関節から本機側面までが指 1 本以上離れるよう、本機の装着位置を調整する(図 2)

図2



3. 装着位置が決まったら、本機と腕が滑らない程度までバンドをしっかりとしめる

- より高い精度で計測するために、アクティビティアプリでのスタート直後など、心拍計測を開始した直後の 15 秒間は、タッチスクリーンを上に向けて静かにお待ちください。

✓ 重要

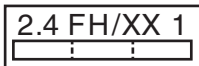
- 心拍計測のためにバンドをしっかりしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。計測終了後はいったんバンドを緩めてから、時計本体と腕の間に指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

無線に関するご注意

- 本機は電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。このため同じ周波数帯を使用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - － 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - － 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - － 大型金属製家具の近く
 - － 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切ったり、腕を組んだりしたとき
 - － 本機とスマートフォンが別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

以下、ARIB（一般社団法人電波産業会）に準ずる

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は FH-SS、その他の方式を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS、OFDM 方式を採用し、想定される与干渉距離は約 40m です。



- 本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

- 1.32 インチ 2 層ディスプレイ、カラー TFT 液晶 (320×300 ピクセル) + モノクロ液晶
- 静電容量式タッチパネル
- マイクロフォン
- バイプレーター
- バッテリー:
形式: リチウムイオン電池
充電時間:
常温で約 2.5 時間 (必ず専用の充電ケーブルと AC アダプターを使用すること)
- Bluetooth: Bluetooth® 4.2 (Low Energy 対応)
- Wi-Fi (無線 LAN): IEEE802.11b/g/n
- メモリー: 4GB 内蔵メモリー、768MB RAM
- 充電方式: マグネット圧着式充電端子
- ボタン: MAP ボタン、電源ボタン、APP ボタン
- 5 気圧防水※1
- 耐環境性能: MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格) 準拠
- センサー: GPS、圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー、光学式センサー (心拍計)

- 時計:

- 自動時刻修正:

- スマートフォンとの通信による (手動による時刻修正可能)

- GPS 情報による (手動操作での一時的補正)

- タイムゾーン (世界時計対応機能):

- 全世界の複数のタイムゾーンに対応 (種類はシステムのタイムゾーンに依存)

- 12 時間 / 24 時間切替

- 自動年月日設定 (フルオートカレンダー):

- スマートフォンとの連携により自動切替

- サマータイム対応:

- スマートフォンとの連携により自動切替

- ウォッチフェイス種類:

- お気に入り 3 種類、後から追加可能

- ロケーションメモリー App:

- 地図表示、ルート表示、地図のスキン選択、地図のダウンロード (オフラインマップ)、音声メモ機能、地点マーク機能、また来たい機能^{※2}、過去の履歴表示機能

● ツール App:

コンパス (方位計測):

計測範囲: 0 度～359 度

計測単位: 1 度

方位連続計測: 1 分間

北方位指針、磁気偏角補正、ベアリングメモリー、傾斜補正

高度計:

計測範囲: -700～10,000m

計測単位: 1m 単位

計測精度: $\pm 75\text{m}$ 以内 (頻繁に補正をした場合)

高度計測間隔: 1 分

高度変化グラフ: 過去 24 時間分

マニュアル高度補正、位置情報による自動高度補正 ※3

気圧計:

計測範囲: 260～1,100hPa

計測単位: 1hPa 単位

計測精度: $\pm 3\text{hPa}$ 以内

気圧変化グラフ: 過去 24 時間分

気圧計測間隔: 1 分

マニュアル気圧補正

潮汐とフィッシング:

タイドグラフ: 過去 12 時間 + 未来 12 時間分

フィッシングタイム (現在地と月の時角、月齢を元に計算)

日の出日の入り:

日の出・日の入りの時刻 (現在地の日の出日の入り)

日の出・日の入りの方位: 方位精度はコンパスに準じる

活動グラフ ※4:

1 日の行動パターン: 走る / 自転車 / 歩く / 乗り物 / 静止

消費カロリー、心拍数、歩数、運動時間

- アクティビティ App:
ランニング、トレイルランニング、登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング、パドル、スノー
- MOMENT SETTER App:
登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング、パドル、スノーに対応した通知
- 画面の明るさの設定: 5 段階
- 時計のバッテリー残量表示: 0~100% 整数値
- 充電器 (AC アダプター):
INPUT: AC 100V ~ 240V 50Hz/60Hz
OUTPUT: 5.0V
- 充電ケーブル:
長さ: 約 0.75m
形状: AC アダプター側 USB Type A
- フル充電からの使用時間^{※1}:
通常使用時: 約 1 日以上
マルチタイムピースモード使用時: 約 1 か月^{※5}
- 動作温度範囲: -10℃~40℃
- 風防: 無機ガラス (防汚コーティング)
- 本体サイズ (ボディ部分の縦×横×厚さ): 約 61.7 × 57.7 × 16.75 mm ^{※6}
- 質量 (バンド含む): 約 81 g
- 付属品: 充電器 (AC アダプター)、専用充電ケーブル

● MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格):

説明:

- 1: 落下
- 2: 振動
- 3: 湿度
- 4: 太陽光照射
- 5: 低圧保管
- 6: 低圧動作
- 7: 低温保管
- 8: 温度衝撃
- 9: 氷結

対応項目: MIL-STD-810G, w/change1

- 1: Method 516.7 Procedure IV
- 2: Method 514.7 Procedure I
- 3: Method 507.6 Procedure II
- 4: Method 505.6 Procedure II
- 5: Method 500.6 Procedure I
- 6: Method 500.6 Procedure II
- 7: Method 502.6 Procedure I
- 8: Method 503.6 Procedure I -C
- 9: Method 521.4 Procedure I

諸注意:

本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

● 動作環境

Wear OS by Google は、Android 4.4 以上 (Go エディションを除く) または iOS10 以上^{*7} が稼働しているスマートフォンで動作します。利用できる機能は、プラットフォームや国によって異なります。

互換性を確認するには、ご使用の Android スマートフォンまたは iPhone で g.co/wearcheck にアクセスしてください。

- ※1 当社の試験環境による
- ※2 機能の利用には、CASIO MOMENT SETTER+アプリのインストールされた Android スマートフォンと本機が通信可能な状態であることが必要です。iOS には未対応です。
- ※3 GPS の高度情報を利用しているため実際の海拔高度や標高とは一致しません。
- ※4 デフォルトは、OFF
- ※5 歩数を表示した場合、使用時間は短くなります。
- ※6 厚さにセンサー突起を含む場合は約 19.05 mm
- ※7 iOS 利用時は、一部機能が制限されます。

オープンソース情報

当社は GPL、LGPL、その他オープンソースライセンスの適用対象となるソースコードを本製品に利用しています。当社は各オープンソースライセンスの定めに従い、ソースコードを開示しています。ソースコードおよび各オープンソースライセンスの内容については、当社ウェブサイトにてご確認ください。ソースコードは現状有姿のまま提供されるものとし、いかなる保証もいたしません。ただし、本製品の不具合(ソースコードに含まれる不具合も含みます)に関する当社による保証条件には影響しません。

商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Google、Android、Wear OS by Google、Google Play、およびその他のマークやロゴは Google LLC の商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- その他この取扱説明書に記載されている会社名、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。

規制情報について

本機は電子的表示の対応装置です。規制情報を表示するには、下記の操作を行ってください。

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、をタップする。
2. 下にスクロールして「システム」、「規制情報」の順にタップする。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本機は米国再輸出規制 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

周波数帯域および周波数帯域で送信する最大無線周波数出力

● WSD-F21

IEEE802.11b/g/n:2.4GHz band $\leq 19\text{dBm}$

Bluetooth(2.4GHz) $\leq 10.5\text{dBm}$

品質向上のために

製品の品質や機能の向上に役立てるため、本機は一部の利用情報を個人を特定しない形式でカシオ計算機のサーバーに送信しています。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒 151-8543

東京都渋谷区本町 1-6-2

S06_MA2312-E